

平成25年度
教育委員会事務の点検及び評価報告書
(平成24年度事務事業対象)

平成25年9月
長門市教育委員会

目 次

はじめに	1
教育委員会の活動状況	2
1 教育委員会の活動状況について	2
教育委員会事務の点検及び評価制度	4
1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の 点検及び評価の実施について	4
2 長門市教育委員会の権限に属する事務の 管理及び執行の状況の点検及び評価について	4
3 点検及び評価の対象事業について	7
4 有識者の総括的な意見	9
5 各事務事業の点検及び評価結果	10

はじめに

長門市教育委員会では、約 60 年ぶりに改正された教育基本法において、「国の計画を参酌し、地域の実情に応じて計画を策定するよう努めなければならない」とされたことを受けて、平成 24 年度から 5 年間の長門市総合計画・後期基本計画」に連動させた長門市教育振興基本計画を策定しました。

この計画は、現行の学校教育や社会教育の取組を再構築し、長門市における教育振興に必要な施策を体系化しております。そして、基本理念を「生涯を通じて自らを磨き・高め、連携して「知」をはぐくむ」とし、教育をめぐる学校・家庭・地域・行政の各主体が「横の連携」を強化し、学校での教育段階はもとより、生涯を通じて自らを磨き、高めていく「縦の接続」を重視することで、合併後の本市で課題となっているコミュニティの再生も、併せて図っていくものとしております。

また、この計画に基づき、毎年度、教育施策方針を策定し、教育行政を推進しているところです。

一方、昨今の地方教育行政を取巻く環境は、教育基本法の改正に始まり、学習指導要領の改正、教育における地方分権の推進、そして教育委員会の責任体制の明確化など、大きく変化しようとしています。

このような中、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（昭和 31 年法律第 162 号）の一部改正により、平成 20 年度からすべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、本市教育委員会が実施した平成 24 年度事務事業のうち、主要な事務事業を対象に教育委員会自らが点検及び評価を行い、学識経験者等の意見をいただいて作成したものです。

教育委員会の活動状況

1 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会の開催状況

教育委員会の会議は、原則として毎月1回「定例会」を開催し、必要に応じて臨時会を開催することとしています。

- ① 定例会・・・12回（原則として毎月第4火曜日）
- ② 臨時会・・・1回（随時）

(2) 教育委員会での審議及び報告

教育委員会の会議では「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に定める事務（同法第26条及び「長門市教育委員会所管事務委任規則」の規定に基づき、教育長に委任された事務を含む。）について、議案審議及び報告等を行いました。

【附議事件等（平成24年4月～平成25年3月）】

区分	内 容	件数
議案	教育行政の運営に関する一般方針を決定すること	4
	規則及び規程の制定または改廃に関すること	3
	議会の議決を経るべき事件の議案に関すること	5
	学校その他の教育機関の設置又は廃止に関すること	
	人事に関すること	7
	附属機関等の委員等の委嘱等に関すること	3
	通学区域に関すること	
	県費負担教職員の任免その他の進退の内申に関すること	1
	その他	3
報告		16
協議		11

【平成24年度からの取組】

教育委員会議の活性化のために、次のことに取り組みました。

- ①会議録の承認・・・教育委員及び事務局職員の共通認識及び発言内容の確認のために、委員会で承認を受ける。
- ②教育長からの報告・・・各課からの報告だけでなく、教育長から会議等の出席に伴う報告及び最新情報の提供等を受ける。
- ②意見交換の実施・・・市内外での問題をタイムリーに意見交換する。

(3) 教育委員の活動

教育委員の各種行事への参加状況は次のとおりです。

① 幼稚園・小中学校計画訪問

月日	学校名	月日	学校名	月日	学校名
5/16	通小学校	5/22	神田小学校	5/23	仙崎小学校
5/30	明倫小学校	6/22	浅田小学校	6/25	油谷小学校
6/27	深川小学校	6/28	俵山中学校	7/ 3	向津具小学校
7/ 4	向陽小学校	7/ 9	菱海中学校	7/10	俵山小学校
7/11	日置中学校	7/17	宗頭幼稚園	10/ 2	三隅中学校
10/ 3	仙崎中学校	10/23	日置小学校	10/30	深川中学校

② 研修会等

- ・山口県都市教育長会議 平成24年 4月16日
- ・山口県市教育委員会協議会総会 平成24年 4月16日
- ・山口県市町教育委員会臨時教育長会議 平成24年 4月16日
- ・山口県市町教育委員長・教育長会議 平成24年 4月16日
- ・山口県市町教育委員研修会議 平成24年 4月16日
- ・夏季山口県都市教育長会議 平成24年 7月12日
～13日
- ・県・市町教育委員会教育長意見交換会「ともに一ティング2012」 平成24年 7月17日
- ・秋季山口県都市教育長会議 平成24年10月11日
～12日
- ・長門市学校教育研究大会 平成24年11月 1日
- ・市町村教育委員会研究協議会（第2ブロック） 平成24年11月 8日
～ 9日
- ・山口県市教育委員会協議会研修会 平成24年11月12日
- ・全国市区町村教育長セミナー 平成24年12月14日
～16日

③ 式典

- ・長門市立小学校入学式 平成24年 4月 9日
- ・長門市立中学校入学式 平成24年 4月 9日
- ・深川小学校の完成を祝う会 平成24年10月17日
- ・長門市成人式 平成25年 1月 3日
- ・長門市立小学校卒業証書授与式 平成25年 3月19日
- ・長門市立中学校卒業証書授与式 平成25年 3月 9日

教育委員会事務の点検及び評価制度

1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について

平成18年12月の教育基本法の改正と平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第27条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律《抜粋》

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 長門市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

(1) 点検及び評価の目的

点検及び評価は、市民に対する行政の説明責任を果たすことによって、教育行政に対する市民の理解と信頼性の向上を図るとともに、今後重点化を図らなければならない分野を明確にすることによって、市民が求める質の高い教育を提供していくことを目的としています。

(2) 点検及び評価の対象

① 対象期間

平成24年度(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

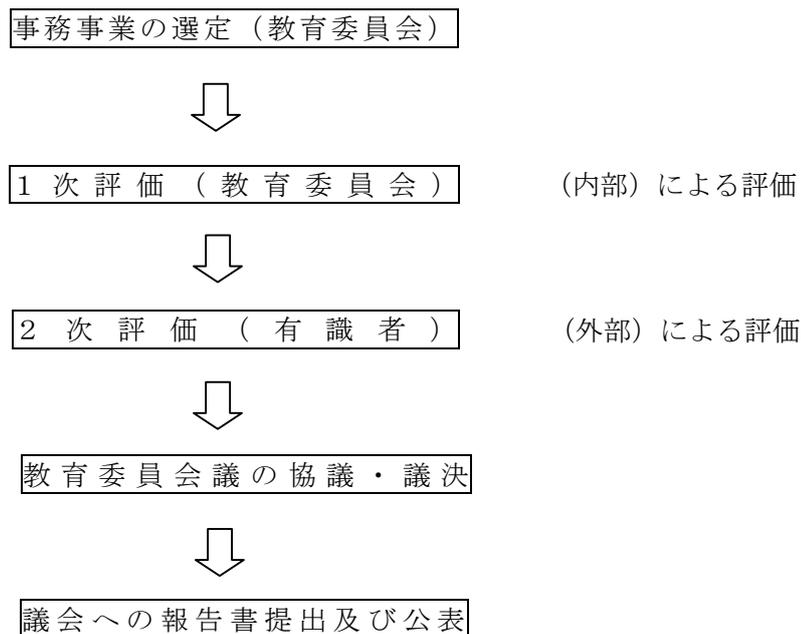
② 対象事務

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定されている教育委員会の権限に属する事務(市長部局において補助執行している事務を含む。)及び市長の権限に属する事務のうち教育委員会事務局において補助執行している事務

(3) 点検及び評価の実施方法

教育振興基本計画に定める基本理念と基本目標に基づき、具体的かつ総合的に事業を進めるため策定した「平成24年度長門市教育施策方針」に定める施策に関する事務事業ごとに活動状況を点検し、これを評価する方法により実施しました。

(4) 点検及び評価の流れ



(5) 有識者の知見の活用について

事務事業の点検及び評価の客観性を確保し、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、事務事業の点検及び評価に関する有識者（以下「有識者」という。）を置き、教育委員会が行った事務事業の点検及び評価の結果についてご意見をいただきました。

有識者は次のとおりです。

- ・村尾 紀孝（元小学校校長）
- ・中原ヤナエ（元小学校校長）
- ・松永 功（前長門市PTA連合会会長）
- ・松野 圭子（元三隅町教育委員）
- ・倉本 優善（前長門市PTA連合会副会長）

長門市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価実施要綱

平成22年4月1日
教育委員会要綱第4号

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号以下「法」という。)第27条第1項の規定により行う教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(以下「点検及び評価」という。)について、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 点検及び評価の対象は、長門市教育委員会教育行政施策方針に定められた施策を推進する事務事業のうちから、教育委員会が選択したもの(以下「事務事業」という。)とする。

(点検及び評価の実施)

第3条 教育委員会は、当該事務事業を企画立案し遂行する立場から、毎年度、事業の必要性、効率性、有効性その他の事項を視点として、点検及び評価を行う。

(点検及び評価に関する有識者)

第4条 点検及び評価を行うにあたり、客観性を確保するため、事務事業の点検及び評価に関する有識者(以下「有識者」という。)を置き、教育に関し学識経験を有する者等の知見の活用を図る。

2 有識者は、教育委員会の求めに応じ、点検及び評価について意見を述べるものとする。

3 有識者は5人以内とし、教育に関し学識経験を有する者、教育に関し優れた識見を有する者のうちから教育委員会が委嘱する。

4 有識者の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠の者の任期は、前任者の残任期間とする。

5 有識者は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(市議会への報告等)

第5条 点検及び評価の結果は、毎年市議会に報告するものとする。

2 前項の報告の後に、点検及び評価の結果を市民に対し公表するものとする。

(補則)

第6条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する

3 点検及び評価の対象事業について

基本理念	基本目標	施策の課題	事務事業	番号
生涯を通じて自らを磨き・高め、連携して「知」をはぐくむ	安全・安心を確保するとともに、 教育環境を整備します	安全・安心な教育を支える 環境の整備	学校施設の耐震化事業	1
			深川小学校改築事業	2
			油谷小学校改築事業	3
			学校統廃合事業	4
			学校給食センター運営管理事業	5
			通学支援事業	6
		質の高い教育を支える環 境の整備	学校教育の情報化事業	7
			長門市教育研究大会事業	8
		地域で子どもたちを育て る環境の整備	コミュニティ・スクール事業	9
			地域協育ネット事業	10
			家庭教育支援事業	11
	子どもたちの個性を尊重しつつ能力を伸ばし、 生きる力を育成します	知識、思考力・判断力・表 現力、学習意欲等の「確か な学力」の育成	「確かな学力」育成サポート事業	12
			小中一貫教育の推進事業	13
			幼保・小連携推進事業	14
			外国語指導助手導入事業	15
			研究指定校補助事業	16
		規範意識を養い、豊かな心 と健やかな体づくり	山口県青少年劇場当開催事業	17
			金子みすゞ児童作品コンクール事 業	18
			教育支援センター事業	19
			いじめ問題に掛かる教育相談事業	20
			キャリア教育推進事業	21
		特別なニーズに対応した 教育の推進	特別支援教育の充実事業	22
			就学指導委員会事業	23
			夏季教育研修講座事業	24

基本理念	基本目標	施策の課題	事務事業	番号
生涯を通じて自らを磨き・高め、連携して「知」をはぐくむ	社会全体で、生涯学習の理念に基づき取組を推進します	いつでも、どこでも学べる 機会の充実	生涯学習の推進事業	—
			成人式開催事業	25
			公民館指定管理事業	26
			図書館の充実事業	27
			婦人団体活動活動支援事業	28
			青少年健全育成団体支援事業	29
			人権教育講座開設事業	30
			人権教育啓発推進事業	31
			生涯スポーツの推進事業	—
			我がまちスポーツ事業	32
			学校体育施設開放事業	33
			スポーツ教室・健康医学 講習会開催事業	34
			長門市体育協会補助金事業	35
			総合型地域スポーツクラブ 育成事業	36
			ニュースポーツ等 指導者研修事業	37
		学校・家庭・地域の連携を 強化し、学習成果を生かす 協働の推進	地域協育ネット事業（再掲）	—
			放課後子ども教室推進事業	38
		次世代への地域文化の継 承	文化財の保護・活用事業	39
			地域文化の継承事業	40

4 有識者の総括的な意見

有識者からは、教育委員会が行った事務事業の点検及び評価の結果だけでなく、教育行政全般について、次のとおりご意見をいただきました。

今回の点検及び評価が、教育行政に対する市民の理解と信頼性の向上、質の高い教育を提供するという目的を達成できるよう、今後も改善しながら事務事業を執行していきます。

【報告書について】

○基本理念、3つの基本目標、施策の課題が教育振興基本計画に明記され、それに沿った対象事業の内容と目標、成果の指標が示されたことにより、とても分かりやすい報告書となっている。

○一方で、施策の課題とそれに対する取組状況とが合致していないものもある。また、分かりやすい表記への見直しも必要である。

【教育行政について】

○長門市教育振興基本計画、基本理念を中心として基本目標を達成していただきたい。

○前年度の点検・意見が考慮された事業がいくつか見受けられる。何年も続けていると点検がおろそかになるので、今一度事業内容を確認・点検をしていただき、P (Plan・計画) D (Do・実行) C (Check・評価) A (Action・改善) のサイクルをこれからも大事にし、特に、有識者会議で意見等が付されたものは、問題点や改善点、その事業の必要性等について十分検討されて、次年度以降の事業に反映してほしい。

○コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進に向けて、総務課の環境面からのアプローチ、生涯学習スポーツ振興課の「地域協育」への支援等、学校、家庭、地域がつながりをもってその役割を十分に果たせるようにという視点で各事業が展開されていることが良く分かる。めざすものが共有されている印象を受け、「教育」を核としたコミュニティづくりへの期待が広がる。

○長門市教育の目指す姿がはっきりしてきたが、「みすゞ学園」「コミュニティ・スクール」「地域協育ネット」など、一般の市民にはまだまだなじみの薄い言葉がある。学校がもっと発信して、保護者や地域住民と一緒に、地域の子どもの15年間の育ちや学びを支え考えていくという方針をもっとアピールする必要がある。

5 各事務事業の点検及び評価結果

①施策の課題ごと

施策の課題	取 組 状 況	番号
安全・安心な教育を支える環境の整備	長門市学校施設整備計画に基づき、子どもたちが安全で、安心できる教育環境の整備をしており、校舎の改築等を含めた耐震化率 100%を目指している。	1-6
質の高い教育を支える環境の整備	情報化の推進のために、教職員用パソコンを平成 24・25 年度で整備する。また、教育研究大会は学校教育基本方針の定着と教職員が研究交流を推進する場になっている。あわせて、学校運営協議会委員・保護者・市民との協働意識を高める場としたい。	7-8
地域で子どもたちを育てる環境の整備	地域住民の“学び・交流”を公民館がコーディネーターとなり、学校支援等の活動につなげる「地域協育ネット」の推進により、地域総ぐるみでの子どもを育てる気運が高まり、地域の活性化にもつながっている。	9-11
知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成	学力向上のため、校種間連携と授業改善等を柱に各校の取組を推進するとともに、有効な手立てを市内全体で共有するようにしている。	12-16
規範意識を養い、豊かな心と健やかな体づくり	課題を抱える子どもたちへの対応や豊かな情操を養う教育活動を展開している。あわせて、自分らしい生き方を実現するための力を育成したい。	17-21
特別なニーズに対応した教育の推進	連携と専門家等の意見を踏まえ、早期からのよりよい就学に努めている。また、可能な限り通常学級で支援を要する子どもたちへの対応を行っている。	22-24
いつでも、どこでも学べる機会の充実	ライフステージに対応した学びの機会を提供することにより、市民の生涯学習の推進を図っている。スポーツを普及・指導する団体等を活用し、誰もがスポーツに携わることのできる環境の整備を行っている。	25-37
学校・家庭・地域の連携を強化し、学習成果を生かす協働の推進	地域協育ネットの推進により、学校・家庭・地域が連携した活動に取り組まれている	38
次世代への地域文化の継承	企画展（萩焼展）の開催や学校への文化財出前講座などに取り組み、地域文化伝承の成果を上げている。	39-40

②各事務事業ごと

番 号	1	主 管 課	教育総務課																					
事 業 名	学校施設の耐震化事業																							
施 策 の 課 題	安全・安心な教育を支える環境の整備																							
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了																							
事業の概要及び目標	平成 19 年 3 月に策定した長門市学校施設整備計画(学校施設耐震化推進計画)に基づき、耐震性の低い校舎及び屋内運動場の耐震補強工事を行い、児童生徒の安全かつ安心な学習環境の整備を図る。																							
予 算 額 (決算額)	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度(当初)																					
	22 年度繰越予算 68,512,000 円 (53,431,770 円)	23 年度繰越予算 172,353,000 円 (167,869,375 円) 現年度予算 7,855,050 円 (7,855,050 円)	64,533,000 円																					
評 価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る																							
	<p>大規模地震により倒壊の危険性が高い Is 値^{*1}=0.3 未満の学校施設を優先して事業を実施。</p> <p>【平成 24 年度事業実績／平成 23 年度予算繰越分】</p> <p>①小学校施設耐震化事業(支出額 63,515,000 円)</p> <table border="0"> <tr> <td>向陽小学校 屋内運動場耐震補強工事</td> <td>61,614,000 円</td> </tr> <tr> <td>〃 監理業務委託</td> <td>1,900,500 円</td> </tr> <tr> <td>その他(手数料／工事確認表示板)</td> <td>500 円</td> </tr> </table> <p>②向津具小学校移転改修事業(支出額 104,354,375 円)</p> <table border="0"> <tr> <td>校舎改修工事</td> <td>32,919,600 円</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場耐震補強工事</td> <td>48,386,100 円</td> </tr> <tr> <td>校舎・屋内運動場電気設備工事</td> <td>3,915,450 円</td> </tr> <tr> <td>〃 機械設備工事</td> <td>9,187,500 円</td> </tr> <tr> <td>実施設計、工事監理業務委託</td> <td>6,930,000 円</td> </tr> <tr> <td>備品整備(屋外遊具)</td> <td>2,887,500 円</td> </tr> <tr> <td>その他(消耗品費、手数料)</td> <td>128,225 円</td> </tr> </table> <p>【平成 24 年度事業実績／現年度予算分】</p> <p>②向津具小学校移転改修事業(支出額 7,855,050 円)</p> <table border="0"> <tr> <td>外構・グラウンド整備工事</td> <td>7,855,050 円</td> </tr> </table>			向陽小学校 屋内運動場耐震補強工事	61,614,000 円	〃 監理業務委託	1,900,500 円	その他(手数料／工事確認表示板)	500 円	校舎改修工事	32,919,600 円	屋内運動場耐震補強工事	48,386,100 円	校舎・屋内運動場電気設備工事	3,915,450 円	〃 機械設備工事	9,187,500 円	実施設計、工事監理業務委託	6,930,000 円	備品整備(屋外遊具)	2,887,500 円	その他(消耗品費、手数料)	128,225 円	外構・グラウンド整備工事
向陽小学校 屋内運動場耐震補強工事	61,614,000 円																							
〃 監理業務委託	1,900,500 円																							
その他(手数料／工事確認表示板)	500 円																							
校舎改修工事	32,919,600 円																							
屋内運動場耐震補強工事	48,386,100 円																							
校舎・屋内運動場電気設備工事	3,915,450 円																							
〃 機械設備工事	9,187,500 円																							
実施設計、工事監理業務委託	6,930,000 円																							
備品整備(屋外遊具)	2,887,500 円																							
その他(消耗品費、手数料)	128,225 円																							
外構・グラウンド整備工事	7,855,050 円																							

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>学校施設の耐震化については、学校施設耐震化推進計画を前倒しし、Is 値=0.3 未満の施設を優先して、これまで耐震化への取り組みを進めてきたところである。</p> <p>本市における公立小中学校の耐震化率は、平成 24 年度当初が 70.6%、25 年度が 77.6%と推移しており、国の方針である平成 27 年度末の耐震化率 100%（完了）に向け、今後も計画的に耐震化を進めていくこととしている。については、平成 25 年度において、耐震性のない全ての建物の耐震補強等に係る調査及び設計を完了させることとしており、国の補正予算等にも即対応し工事着手できるよう準備を行うことで耐震化の加速化を図る。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 学校施設の耐震化事業

<p>外 部 評 価</p>	<p>○安心、安全、安価で計画的に着実に事業を推進していただきたい。</p> <p>○大きな予算を伴うが、平成 27 年度未完了に向けて、計画的に進められており、安全な学習環境が整えられてきている。</p>
----------------	---

※1 Is 値（構造耐震指標）・・・耐震診断により建物の耐震性能を示す指標で、Is 値 0.6 以上で耐震性能を満たすとされていますが、文部科学省は学校では 0.7 以上に補強するように求めています。Is 値 0.3 未満は大規模な地震（一般的に震度 6 強程度）により倒壊の可能性が高い建物とされています。

番 号	2	主 管 課	教育総務課
事 業 名	深川小学校改築事業		
施 策 の 課 題	安全・安心な教育を支える環境の整備		
区 分	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<p>深川小学校の校舎及び屋内運動場は、築後 50 年が経過し、建物の随所が著しく老朽化している。また、耐力度も低下し、耐震基準を満たしていないため、全面改築を行い、児童の安全安心な学習環境の整備を図る。</p> <p>【建築等概要】 建設位置：東深川 2688 番地 1（藤中区） 建物構造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）2 階建 敷地面積：約 27,100 m² 建築面積：校舎棟 3,843 m²／屋内運動場 1,244 m² 延床面積：校舎棟 6,382 m²（1 階 3,321 m²／2 階 3,061 m²） 屋内運動場 1,466 m² 計画児童数：600 人 計画学級数：21 学級（普通 6 学年×3 学級、特別支援 3 学級）</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度 (当初)
	1,817,436,000 円 (1,477,254,961 円)	H23 年度繰越予算 202,656,000 円 (187,442,240 円)	
評 価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成 22 年 8 月から校舎棟及び屋内運動場の建設工事に着手し、23 年 9 月末に完成、10 月 3 日に「授業始め式」を行い校舎等の使用を開始した。その後、旧校舎の解体、プールの改修、グラウンド整備工事等に順次着手したが、多種にわたる工事が一度に集中したことから全体的な工期を見直す必要が生じ、工事の一部を 24 年度に繰り越して行うこととなった。</p> <p>平成 24 年度においては、工事中の児童の安全・安心な学校生活を確保することはもとより、授業の進捗や主要な学校行事に支障を生じさせることがないように、現場との連絡調整を図るとともに工程管理に努め、学校の要望どおり 7 月 2 日にプールを使用開始、9 月 3 日にメイングラウンドの使用を開始することができた。</p> <p>また、深川小学校の創立記念日である 10 月 17 日に、深川小学校改築事業及び市道改修や児童クラブ建設工事等、深川小学校の全面改築に伴う全ての工事の完成を祝い、240 人規模の記念セレモニー「深川小学校の完成を祝う会（式典及び施設見学会）」を開催し、当該事業の全てを完了した。（事業年度 平成 19～24 年度、総事業費 約 25 億円）</p>		

	<p>【平成 24 年度事業実績／平成 23 年度予算繰越分】</p> <p>プール改修・改築工事 47,489,450 円</p> <p>グラウンド・プール等機械設備工事 15,149,450 円</p> <p>グラウンド・プール等電気設備工事 6,576,800 円</p> <p>体育倉庫建築工事 10,186,650 円</p> <p>グラウンド整備工事（第 1 工区） 41,925,000 円</p> <p>〃（第 2 工区） 25,778,050 円</p> <p>グラウンド舗装工事（第 1 工区） 9,758,200 円</p> <p>〃（第 2 工区） 16,141,700 円</p> <p>グラウンド修景工事 5,464,350 円</p> <p>中庭整備工事 2,032,800 円</p> <p>〃 足洗い場増設工事 798,000 円</p> <p>舗装附帯工事 812,700 円</p> <p>工事監理業務 4,536,000 円</p> <p>P C B 処理業務 444,150 円</p> <p>建築物等完了検査手数料 86,500 円</p> <p>完成を祝う会（需用費／パンフ印刷代他） 262,440 円</p>
<p>課 題 と 今後の取組</p>	

〔事業名〕 深川小学校改築事業

<p>外 部 評 価</p>	<p>○内容はもちろん学校の学習計画に合わせて工程管理に努めるなど、子どもの活動や生活に配慮した建設工事が進められたことは十分に評価したい。今後、子どもの夢、地域の夢を育む学び舎となることを期待している。</p>
----------------	--

番 号	3	主 管 課	教育総務課
事 業 名	油谷小学校改築事業		
施 策 の 課 題	安全・安心な教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<p>油谷小学校の校舎及び屋内運動場は、築後 50 年近くが経過し建物の随所が著しく老朽化している。耐力度も低下し耐震基準を満たしていないため、全面改築を行い、安全・安心な学習環境の整備を図る。</p> <p>【計画概要】 児童数：130 人 学級数：普通 6 学級（6 学年×1 学級）／ 特別支援 2 学級 面積：校舎棟（2 階建） 3,197 m² 屋内運動場 986 m²</p> <p>平成 24 年度においては、基本設計及び実施設計（設計者／日本設計・山根建築設計 J V）を完了し、25 年度からの工事着手に向けて建設用地の調査及び測量等を実施し、併せて必要となる各種許可申請等を行う。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度 (当初)
	19,096,000 円 (7,746,160 円)	23 年度繰越予算 11,260,000 円 (11,260,000 円) 現年度予算 50,259,000 円 (48,489,080 円)	706,006,000 円
評 価 (取 組 状 況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成 19 年度から、学校関係者、P T A 代表、地域住民代表等で組織する改築検討委員会を設置し、意見交換やワークショップを行ってきた。平成 24 年度においては、6 月に 23 年度に着手した基本設計を終え、引き続き実施設計に着手し年度末に完了した。</p> <p>また、設計と並行し、25 年度の工事着手に向けて下記の取り組みを行った。</p> <p>【平成 24 年度事業実績／平成 23 年度予算繰越分】 基本設計及び実施設計業務 11,260,000 円 (基本設計分)</p> <p>【平成 24 年度事業実績／現年度予算分】 基本設計及び実施設計業務 35,490,000 円 (実施設計分) 建設用地地形調査業務 6,387,150 円 北側用地測量・分筆登記業務 386,400 円 開発行為許可申請業務 5,355,000 円 雑木伐採、電柱移転補償、申請手数料 791,270 円 改築検討委員会（3 回開催、報償費他） 79,260 円</p>		

<p>課 題 と 今後の取組</p>	<p>当該事業については、平成 25 年度から順次工事に着手し、十分な耐震性を有する安全で安心な学校として、また、市有林材を活用した木質化に積極的に取り組む等、地域に開かれた環境にやさしい学校として整備を進めていくこととしている。</p> <p>深川小学校の改築同様、現校舎を使用しながらの工事に加え、深川小学校より更に狭小な敷地の中で多くの工事が同時に行われることとなるため、学校、施工業者、教育委員会の三者で連絡調整を密にし、常に児童の安全確保を第一に、授業の進捗や主要な学校行事に支障が生じることのないよう配慮し、平成 27 年 7 月の完了に向けて、徹底し工程等管理に努めていく。</p>
------------------------	--

〔事業名〕 油谷小学校改築事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○工事期間の児童の安全対策に万全を期すとともに、日常の学校生活にできるだけ支障のないように配慮されたい。 ○平成 25 年度着工に向けて計画的に準備が進められている。市有林材の活用や木質化に取り組むとともに、「コミュニティ・スクール」を視野に入れた学校施設建設のモデルとして期待している。 ○工事中の子どもたちの安心、安全を第一に願う。
----------------	--

番 号	4	主 管 課	教育総務課
事 業 名	学校統廃合事業		
施 策 の 課 題	安全・安心な教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>学校の小規模化は、児童生徒の学校における人間関係の固定化、部活動や学校行事等における多様な選択の制限等、教育環境として支障が生じることが想定されるため、平成 19 年 2 月策定の「長門市立小中学校適正配置方針」に基づき、統廃合により適正な教育環境が提供できる一定の学校規模の確保を図る。</p> <p>※俵山中学校の深川中学校への統廃合</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度 (当初)
	210,000 円 (210,000 円)	0 円	0 円
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成 20 年度から途絶えていた俵山中学校の統廃合に係る地元との協議を再開するため、年度当初から地元に出向き、窓口となる組織の立ち上げ及び協議の場の設置等を要請してきた結果、地元において「俵山地区学校等あり方検討委員会」が組織され、協議を再開することができた。</p> <p>地元と教育委員会との意見交換会、また地元で主体的に行われたアンケート集約や既に統廃合となった地区への視察等を経て、学校等あり方検討委員会より 3 月 15 日付けで「条件付きであるがやむなく賛成」という地元の意見集約となる報告書の提出があった。</p> <p>これを受け、後日開催された俵山地区発展促進協議会の役員会において、教育長より口頭で「平成 27 年 4 月を目途に統廃合に向けての協議を進めていく」という教育委員会の方針を示し理解を求めた。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>教育委員会としては、市内全体の学習環境のバランス、年齢に応じた子どもの学びの可能性や自主性を育む適正規模の学習環境の必要性を重視し、これまで過小規模校の統廃合に取り組んできた。</p> <p>平成 25 年度においては、関係校及びその保護者会に出向き、俵山中学校の統廃合について説明を行うとともに、平成 27 年 4 月を目途に、地元の総意として「概ね理解と承諾」が得られるよう、ひとつひとつ課題を解決していくための具体的な協議や取り組みを進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 深川中学校の耐震化工事の前倒し実施 ・ 効果的な交流事業の組み立て、実施 ・ スクールバスの運行と通学支援 ・ 俵山湯の家、措置児童生徒への支援 等
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 学校統廃合事業

<p>外 部 評 価</p>	<p>○俵山中学校においては、「湯の家」の現状と今後の見通しをしっかりと見極めることが大切と考える。</p> <p>○「統合ありき」ではなく、地域住民の意見集約に向けて、きめ細かい配慮と支援があつてこそその進展だと思ふ。地域住民の思いに添いつつ、様々な提案をしていく中で、よりよい形が出来ていくと思ふ。</p>
----------------	---

番 号	5	主 管 課	教育総務課
事 業 名	学校給食センター運営管理事業		
施 策 の 課 題	安全・安心な教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>長門市学校給食運営方針に基づき、平成22年9月に開設した長門市学校給食センターを中心に、学校給食の衛生管理の向上と高質で安全・安心な給食の提供を図る。</p> <p>また、将来的な本市の学校給食施設の1センター化を検討する中で、段階的にその取り組みを進めていく。</p> <p>【施設】 長門市学校給食センター (2,400食/日) 対象：14校 ※配送業務直営 日置学校給食センター (400食/日) 対象：2校 深川中学校調理場 (600食/日) 対象：自校</p> <p>【会議等】 学校給食運営委員会 (長門市センター1回、日置2回)、 献立作成委員会 (11回)、物資選定委員会 (2回)</p>		
予 算 額 (決算額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	207,578,000円 (197,612,186円)	210,171,000円 (199,006,500円)	211,634,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>【24年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食数 長門市学校給食センター 2,110食 日置学校給食センター 320食 深川中学校調理場 380食 ・平均給食日数 190日 ・給食費 小学校245円、中学校280円 ・事業 <ul style="list-style-type: none"> ア 食物アレルギーへの対応 除去食から代替食へ22人→32人 (※別途日置センター10人、深川中3人) イ 食に関する指導目標の推進 センター2名の栄養教諭で14校担当 ウ 地産地消の推進 人参、ジャガイモ、玉ねぎ、キャベツの4品 総使用量33,596kgのうち10,343kgを市内生産者から納入 地産地消率(23年度から横ばい) 県内産/66%、市内産/35% エ 施設見学会、試食会の開催 見学会4回 48人 オ ながと食の日(毎月1回実施) 		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>児童生徒の減少等に伴う給食事業の効率化を図るため、1センター化に向けての取り組みを段階的に進める。</p> <p>深川中学校については、平成26年度から自校調理場を廃止し、長門市学校給食センターから給食を配送することとしており、そのために必要となる配膳室等の改修工事を25年度において実施する。</p> <p>また、地産地消への取り組みを更に活性化させ、より安全・安心で高質・安価な学校給食を提供するために、長門市学校給食センターを中心に、運営体系の見直し・工夫・改善に取り組むこととしている。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 学校給食センター運営管理事業

<p>外 部 評 価</p>	<p>○地産地消の推進や試食会の実施など、地域と密着した給食となるよう更なる努力を望む。</p> <p>○事故無く運営されていることに、多くの関係者の高い「安全意識」がうかがえる。また、地産地消やアレルギー対応除去食の実現など、目標を持った取組が評価できる。生産者や調理現場と子どもとの間の「心の距離」が縮まるよう交流を広げることで、食を通じた心の教育がさらに推進できると期待している。</p> <p>○さらなる地産地消率アップを願う。</p>
----------------	--

番 号	6	主 管 課	教育総務課
事 業 名	通学支援事業		
施 策 の 課 題	安全・安心な教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>スクールバスを運行し（旅客自動車運送事業所に委託し実施）、学校統廃合により廃校となった小中学校の児童生徒の遠距離通学に係る条件緩和と登下校時の安全確保を図る。</p> <p>また、小学生については概ね4km以上、中学生については概ね6km以上通学距離のある児童生徒に対し、通学に要する費用等を補助し、自転車通学が認められている児童生徒については、ヘルメット購入費を補助する等の支援を行い、通学条件の緩和と保護者の負担軽減を図る。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度 (当初)
	37,801,180 円 (36,883,088 円)	38,297,206 円 (37,232,637 円)	41,158,000 円
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>【スクールバス運行事業】 ※事業費 35,291,151 円</p> <p>上記事業費のうち、運行管理業務委託料（3社）は 29,825,600 円</p> <p>青海島地区～仙崎小 30 人・仙崎中 20 人 ※運行台数 2 台</p> <p>真木・渋木地区～深川小 16 人・深川中 5 人 2 台</p> <p>油谷各地区～油谷小 58 人・菱海中 38 人 4 台</p> <p>【その他通学支援】 ※事業費 1,941,486 円</p> <p>児童通学費等補助 1,717,986 円（交付対象 47 人）</p> <p>自転車通学児童用ヘルメット購入費補助 1,500 円（＼ 1 人）</p> <p>生徒通学費等補助 82,500 円（＼ 3 人）</p> <p>自転車通学生徒用ヘルメット購入費補助 139,500 円（＼ 93 人）</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>スクールバス運行管理業務については、業務価格の抑制及び地域雇用の安定確保という観点から、また、子ども達の安全・安心な移送のためには業者が度々替わるのは好ましくないとの保護者からの意見もあり、平成 25 年度から 3 年間の長期継続契約とした。</p> <p>また、通学支援に係る補助は旧市町で行われた学校統廃合の条件であり、市町合併時そのまま新市に引き継がれたため、地区によって差異があることから、通学費等補助及びスクールバス利用による通学対象となる基準等について、今後統一的な考えの下で児童生徒の通学事情を十分踏まえ、補助率や対象距離等諸課題について慎重に検討していくこととしている。</p>
----------------------------	--

〔 事 業 名 〕 通学支援事業

<p>外 部 評 価</p>	<p>○自転車通学の認可（特に小学校）は、子どもたちの安全確保のためにも、学校側と保護者側とが慎重に協議を重ねる必要がある。</p> <p>○通学支援補助は統合の条件とはいえ、市内全域平等であるべきではないか。（無理に統合した結果と言われないためにも）</p> <p>○通学支援については、それまでの経緯や保護者の思いにも配慮しながら、行政としての課題や平準化の必要性について理解が得られるよう準備を進めていってほしい。</p> <p>○合併後かなりの年月が経過したにもかかわらず、補助の基準が統一されていないのは問題。過去の経緯はいろいろあろうが、統一基準を設けないと不平等感を招く。</p>
----------------	---

番 号	7	主 管 課	教育総務課
事 業 名	学校教育の情報化事業		
施 策 の 課 題	質の高い教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>小中学校の情報教育用パソコンを計画的に更新し、情報教育環境を充実させることにより、情報教育の向上と円滑な推進を図り、児童生徒の情報活用能力を育成する。</p> <p>また、各学校のコンピューター室における情報教育用パソコンの台数については、児童生徒一人について1台が整備済であるが、教職員の校務用パソコンについてはまだ完全に整備されていない。教職員のさらなる情報通信に関する指導力の向上と、公務の負担軽減を図るために、教職員一人1台のパソコン整備を計画的に進める。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度 (当初)
	21,449,000 円 (20,369,622 円)	20,625,000 円 (20,622,294 円)	26,828,000 円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>【24年度実績】 児童生徒用パソコン (更新) 明倫小学校 (34台)、浅田小学校 (22台)、三隅中学校 (25台) 教職員校務用パソコン (新規) 明倫小学校 (12台)、浅田小学校 (12台)、日置小学校 (15台)、 神田小学校 (8台) 俵山中学校 (12台)、三隅中学校 (16台)、日置中学校 (16台)、 菱海中学校 (14台)</p> <p>*パソコン整備は、リース方式により概ね5年毎に機器の更新を行うことにより、経費負担の平準化に努めることとしている。</p> <p>【参考：23年度の主な取組み】 電子黒板を市内の各小中学校に1台ずつ整備 (光をそそぐ交付金) 教職員校務用パソコン 深川小学校 29台を新規整備</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>今後は、既存機器の計画的な更新と教育用ソフトや電子黒板の情報教育用機器の充実を図るとともに、校務用として教職員一人1台のパソコン整備を計画的に進める。</p> <p>なお、教職員校務用パソコンについては、平成25年度において次の小中学校に整備することとしており、これにより全校完了する。</p> <p>小学校6校 通、仙崎、向陽、俵山、油谷、向津具 中学校2校 仙崎、深川</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 学校教育の情報化事業

<p>外 部 評 価</p>	<p>○情報化時代への対応とはいえ、大きな予算（税金）を伴うものなので、ハード面（機種や数）だけでなく、ソフト面（効果的な活用）にも、しっかり力を注いで欲しい。</p> <p>○校務用パソコンの配置により、事務の効率化が図られると共に、情報や資料の共有化が進むことに期待している。</p> <p>○電子黒板の活用・充実を願う。</p>
----------------	---

番 号	8	主 管 課	学校教育課
事 業 名	長門市教育研究大会事業		
施 策 の 課 題	質の高い教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	市内全小中学校教職員が研究交流するとともに、「開かれた学校づくり」、「生涯学習のまちづくり」の観点から保護者や市民にも公開する研究大会を開催する。具体的には、個別課題による研究物の展示、各中学校ブロック（通・仙崎、深川、俵山、三隅、日置、油谷）における取組の発表とともに、本市が目指す地域と共にある学校づくりを推進するための講演を実施する。		
予 算 額 (決 算 額)	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度 (当初)
	369,522 円 (303,815 円)	359,000 円 (254,980 円)	309,000 円
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	市の学校教育の方向性を教職員全員はもとより学校運営協議会 ^{※1} 委員、学校支援ボランティア等の参加を得て再確認できた点で高く評価できる。小中連携の具体的な実践を中心としたブロック発表は市民の方にも分かりやすいものであった。講演については、講師にあらかじめ長門市の実践資料を提供していたこともあり、下記演題のとおり長門市の目指す「共創・共育」の発想で学校づくり、まちづくりを推進していくための多くの示唆に富んだ内容であった。 <ul style="list-style-type: none"> ・市内各小中学校から出品展示作品 61 作品 ・ブロック発表 通・仙崎ブロック (仙崎小学校) 日置ブロック (日置小学校) 講演 『長門みすゞ学園』への期待 ～これからの時代に求められるカリキュラムづくり～ <ul style="list-style-type: none"> ・講師 広島大学教授 小原 友 行 氏 参加者約300名 		
課 題 と 今 後 の 取 組	「コミュニティ・スクール ^{※2} を基盤とした小中一貫教育」の理念の共有、形態としての定着がなされた現況を踏まえ、今後、各みすゞ学園 ^{※3} ごとの特色を生かした教育活動の深化、充実に資する会の運営が求められる。学校運営協議会委員等にも更に呼びかけ、協働意識を高める場としたい。		

〔事業名〕 長門市教育研究大会事業

外部評価	<p>○意義ある事業で継続すべきである。テーマに即した講師の選定が重要となる。</p> <p>○長門市の特色ある学校づくり、地域とともにある学校づくりの推進には、このような大会を通して関係者が一堂に会し、課題を共有することが大事である。教職員の一体感醸成とともに応援隊でもある地域の支援ボランティアへの積極的な働きかけで輪が広がることを期待している。</p>
------	---

- ※1 学校運営協議会・・・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定される組織で、指定する学校の運営に関して協議する機関。

- ※2 コミュニティ・スクール・・・学校運営協議会を設置した学校。家庭・地域が学校の教育目標を共有しながら、共に学校を創る（共創）「地域と共にある学校」づくりを推進する。長門市では、全ての学校がコミュニティ・スクールとなっている。

- ※3 みすゞ学園・・・地域の特性や子どもの実態を踏まえながら、市内6つの中学校区ごと（仙崎・深川・俵山・三隅・日置・菱海）に共通の目標を設定し、小中学校9年間の一貫した教育を推進する。

番 号	9	主 管 課	学校教育課
事 業 名	コミュニティ・スクール事業		
施 策 の 課 題	地域で子どもたちを育てる環境の整備		
区 分	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>市内17小中学校全てに設置している学校運営協議会の目的は、「より質の高い学校づくりをめざすこと」と「在籍児童生徒の困り感・悩み感を共有し、その解消に努めること」である。</p> <p>研修を通して運営協議会委員のより資質の向上を図ることで、より質の高い学校づくりをめざしたいと考える。</p>		
予 算 額 (決 算 額)		平成24年度	平成25年度(当初)
		100,000円 (94,834円)	586,000円
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>学校運営協議会の活性化及び学校運営協議会委員の資質向上、委員相互による情報交換を目的とした「学校運営協議会委員研修会」を開催した。</p> <p>○期 日 平成25年2月19日 ○会 場 長門市立深川小学校 ○内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究指定校による事例発表(深川小) ・指導講話 演題 「コミュニティ・スクールの活性化と学校運営協議会委員の役割」 講師 山口大学エクステンションセンター 教授 長畑 実 先生 <p>市内小中学校教職員や公民館等関係機関職員等、30名の参加があった。学校と公民館との連携や運営委員の役割について等、今後の各校の取組に参考となる内容が多くあり、有意義な会となった。</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<p>○ 各学校運営協議会での協議した内容を、どのように具体化するか、児童生徒に係る教育活動にどう反映させていくかが次の段階になる。</p> <p>○ 児童生徒15年間の学びの連続性に視点を当て、「みずゞ学園」構想のもと、各学園内の小中学校の学校運営協議会の連携を深めていくことも大切になる。</p>		

〔事業名〕 コミュニティ・スクール事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○質の高い運営協議会と拝察する。「15年間の学びの連続性」は市教委基本理念の「縦の接続」の重視のことと推察するが、「みすゞ学園」構想との関連が分かりにくい。○家庭教育・社会教育（地域）・公教育（幼・保・学校）。これらのかかわりと「15年間の学び」が今ひとつはっきりしない。○学校運営協議会を設置して3～5年経過した学校が多い。保護者や地域住民の参画意識をさらに高め、継続した活動を推進するためには、各学校の工夫（地域への積極的な働きかけ）が大事になってくる。○コミュニティ・スクールという言葉が先行し、なかなか地域の教育力が形として見えてこないように思う。
------	---

番 号	10	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	地域協育ネット事業		
施 策 の 課 題	地域で子どもたちを育てる環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>公民館を中心とした地域の多様な教育資源を教育現場で積極的に生かすため、社会教育団体等が行う地域活動への参加を通して子どもたちの体験活動を充実させている。</p> <p>中学校区を一まとまりとした、地域ぐるみで子どもを育む仕組みづくりを推進する。</p> <p>【目標】地域総ぐるみで子どもを育てることで、子どもたちの「生きる力」を育むとともに地域活性化につなげる。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	100,000円 (28,000円)	204,098円 (204,098円)	185,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>それぞれの指定協力校区(深川中学校区・俵山中学校区・菱海中学校区)において、公民館型の地域協育ネットにより、油谷中央公民館のおしかけふれあい塾など学校・家庭・地域が連携した活動に取り組まれており、地域総ぐるみでの子どもを育てる気運が高まり、地域の活性化にもつながっている。</p>		
課 題 と 今後の取組	<p>指定協力校区での実践を参考に、市内各中学校区において公民館と連携を図り、地域協育ネットの推進に取り組みたい。</p>		

〔事業名〕 地域協育ネット事業

外部評価	<p>○着実に成果を上げている。</p> <p>○「学校」・「家庭」・「地域」が、「子ども」を中心に据えて有機的に係り合うことができるよう、より質の高い調整力が求められる。</p> <p>○公民館が学校と地域をつなぐコーディネーターとなることへの意義は大きい。得意技をもつ人材だけでなく、日常的に支援できる安全確保や環境整備に係るボランティアを広げていくことから、様々な企画が展開できるのではと考える。学校の主体性（思い）が出発点である。</p>
------	---

番 号	1 1	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	家庭教育支援事業		
施 策 の 課 題	地域で子どもたちを育てる環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>小・中学校及び保育園、幼稚園に家庭教育学級を開設し、学級運営に役立つ研修会や意見交換会の実施及び幼児期の学習支援、相談事業を実施している。</p> <p>【目標】家庭の教育機能の向上と児童の健全育成</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度	平成 2 5 年度 (当初)
	435,000 円 (434,600 円)	615,000 円 (487,560 円)	535,000 円
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>各家庭教育学級では、学級生の確保や講座の内容について苦勞されながらも、市の補助基準に沿って確実に実施されているところである。</p> <p>実施額が下回っているのは、公立保育園において学級開設がなかったことによる。(小学校 11 校、中学校 6 校、幼稚園 2 園 実施)</p> <p>意見交換会や合同研修会など家庭教育学級生の学習会を開催したことにより、学級の運営について理解が高まり、高い成果が得られた。</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<p>毎年、交付申請一連の手続きに学校の家庭教育担当者が苦慮されており、できるだけわかりやすい申請書や指導に努めていく。</p> <p>保育園における学級開設を支援する。</p> <p>質の高い学級運営をしていただくために、学級間の意見交換会で日頃の悩みや問題を共有し、解決への指導・助言を行っていく。また、市内の家庭教育学級生が一堂に会し学習することにより、それぞれが連携を深め、学習の深化を図ることを目的に合同研修会を開催する。さらに、必要に応じて個別指導や学級が運営する行事に家庭教育担当の社会教育指導員が積極的に参加し、学級(学校)との良好な関係を築く。</p>		

〔事業名〕 家庭教育支援事業

外部評価	<p>○不特定多数を対象に実施する事業は大変である。それだけに、やりがいもあるので、更なる工夫と努力を重ねていただきたい。</p> <p>○家庭教育に係る保護者の学びの場ととらえ、学校と一体となって支援し、参加しやすい質の高い学級を目指していきたい。「15年間の子どもの育ち」を考えるためにも保育園での開設が進むとよい。</p> <p>○家庭教育学級だけでなく、おやじの会等にも支援を願う。</p>
------	---

番 号	12	主 管 課	学校教育課
事 業 名	「確かな学力」育成サポート事業		
施 策 の 課 題	知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成		
区 分	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>児童生徒の学力向上に向け、より質の高い授業を提供することは、教員にとって最も重要なことであり、そのための研修視察や研究会参加を通して研修を深めることは大変効果的である。</p> <p>市内全小中学校にこのような研修の機会を保障し、それを授業づくりに還元することにより、児童生徒の学力向上・定着を図る。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度 (当初)
		961,000 円 (818,195 円)	1,390,000 円
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>市内全小中学校から1名ずつ計17名が、学力向上に向けた研修視察を行い、各校の児童生徒の課題解決に向けた授業づくりを行っている。</p> <p>視察先(例) ・筑波大学附属小学校 ・国語教育実践研究会 ・学力研全国大会 ・授業づくりセミナー ・京都教育大学附属桃山中・岡山大学附属中</p> <p>視察を行った教員は、所属校の校内研修で報告をしたり、自分の授業に反映したりしながら還元策を行った。</p> <p>また、学力向上プラン検討会では各校の教員が参加し、研修を深めながら自校の授業づくりの改善に役立てている。</p> <p>○1回目(5月17日) 演 題: 「全国学力・学習状況調査結果を生かした授業改善について」 指 導 者: 国立教育政策研究所 学力調査官 磯部 年晃 先生</p> <p>○2回目(12月25日) 市内全小中学校から、教務主任や研修主任の教員が参加し、各校の取組状況を発表したり協議したりした。</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<p>○ 一人でも多くの教員が、研修視察を行うことができるように、校長会等で、偏りのないようをお願いをする。また、1泊2日の研修視察では困難な日程や目的地もあり、今後改善していきたい。</p> <p>○ 学力向上プラン検討会では、できるだけ多くの教員が参加しやすい日程を設定することが必要である。</p>		

〔事業名〕 「確かな学力」育成サポート事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○研修の成果を「教育研究大会」等いろんな場面でより広く還元する機会があるといい。○研修視察は、全ての教員に機会均等であることを願う。○教職員の研修の機会を拡げ、指導力を高めることで、子どもの学力向上につなぐ事業として期待できる。また、学力向上プランの作成・検討の過程の中で、教職員の力量もさらに高まると期待している。○視察後の還元方策が重要である。○教育力アップには教育の資質向上は必要不可欠。研修成果が現場で生かされることを望む。
------	--

番 号	1 3	主 管 課	学校教育課
事 業 名	小中一貫教育の推進事業		
施 策 の 課 題	知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	各中学校区ごとの連携推進を図るための研究に対する支援を行うことは、みすゞ学園内の研修をより深めるためには必須である。 長門市教育研究大会においては、各みすゞ学園の実践例や成果を発表することとしている。		
予 算 額 (決 算 額)	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度 (当初)
	番号 8 「長門市教育研究大会事業費」の中において計上	番号 8 「長門市教育研究大会事業費」の中において計上	番号 8 「長門市教育研究大会事業費」の中において計上
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	市内 6 中学校ごとに連携推進を図る目的として、 ① 小中 9 年間を見通したカリキュラムの作成 ② 小学校教員による中学校での職場体験活動、授業 (TT ^{*1}) ③ 中学校教員による小学校での出前授業 ④ 小学校児童による交流活動 (小小連携 ^{*2}) ⑤ みすゞ学園要覧の作成 ⑥ 各種研修会の合同参加 等 の実施をしている。 みすゞ学園ごとに、「みすゞ学園要覧」を作成しており、その普及を図る目的で長門市教育委員会のホームページに掲載している。 また、他の「みすゞ学園要覧」を参考にしたり、各園の取組を検証したりしながら、加筆修正することとしている。 現在、算数・数学カリキュラムや地域連携カリキュラム、キャリア教育のカリキュラムを作成している。		
課 題 と 今 後 の 取 組	○ 年次ごとに「みすゞ学園要覧」の修正を行うとともに、その内容については、各園ごとによる話し合いを通して推進するようにしたい。 そうした話し合いを通して、各園ごとの児童生徒のよい面や気になる面を共有し、改善に役立てるようにする。		

〔事業名〕 小中一貫教育の推進事業

外部評価	<p>○予算は本事業単独で計上できないか。</p> <p>○「みすゞ学園構想」が具体的になりつつある。特に、地域連携やキャリア教育を視点にしたカリキュラム作りは、地域の特質と9年間の育ちを視野に入れた特色のある取組であり、期待している。</p> <p>○各「みすゞ学園要覧」のさらなる充実を願う。</p>
------	--

※1 TT・・・ティーム・ティーチングの略。複数の教員による授業。

※2 小小連携・・・小学校間の連携。

番 号	14	主 管 課	学校教育課
事 業 名	幼保・小連携推進事業		
施 策 の 課 題	知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<p>就学前教育と小学校教育との間の「なめらかな移行や接続」を図るため、幼保・小連携教育推進協議会を設置し、年2回の推進協議会を開催する。この事業が小・中一貫のコミュニティ・スクールの基盤となっており、きめ細かな指導体制を図ることが重要であり、推進協議会が重要な役割を担っている。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	44,000円 (23,032円)	44,000円 (27,028円)	29,000円
評 価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>幼保、小の連携強化により諸問題の解決を図るため、本年度は、第1回目の協議会に義務教育課の小松絵美子指導主事を招いて、「つながる子どもの育ち 改訂版」の概要について指導していただいた。また、ブロックごとの情報交換を行い、連携を密にした。</p> <p>第2回目は、幼児教育長期研修で1年間、幼稚園で研修されている長門市立深川小学校の山下麻子教諭に、長門市の幼保、小の連携のポイントについて実践発表をしていただいた。また、元周南市教育委員会教育政策課課長補佐・元富田東幼稚園長の前田康子先生に「にこにこ子育て子どもも親も先生も～小学校入学期を中心に～」という演題で指導していただいた。</p> <p>《第1回協議会参加者数》平成24年5月10日 ・幼稚園・保育園教職員13名、小学校教員11名</p> <p>《第2回協議会参加者数》平成24年8月22日 ・幼稚園・保育園教職員26名、小学校教員11名</p> <p>《参加者の声》 ・幼稚園や保育園にとってとても有意義な会である。情報を交流する場としても充実した会になっている。</p> <p>※長期派遣研修として2年連続で小学校の教諭が幼稚園での1年間の研修を行っており、協議会で広く成果を伝えてもらっている。</p>		
課 題 と 今後の取組	<p>小学校では幼児期に体験してきた遊び的要素を小学校生活の中心をなす教科学習に組み入れるなど、小学校のスタートカリキュラムや幼稚園・保育園からの「アプローチカリキュラム」の編成を充実させていきたい。</p> <p>小学校への入学をなめらかに接続できるように、幼保、小の連携を密にして、ネットワークづくりや互いの情報交換の場をつくっていきたい。</p> <p>また、参加者だけでなく、幼保、小の全ての先生方に研修の内容が共有できるように研修の仕方を工夫するなど、充実させていきたい。</p> <p>そして、協議会を年1回として、1回分を小学校教諭の夏休みのみずゞ学園内の園での体験研修にあて、連携の内容を充実させていきたい。</p>		

〔事業名〕 幼保・小連携推進事業

外部評価	<p>○地味ではあるが、着実に前進している。</p> <p>○「11 家庭教育支援事業」等、「子育て」に関するほかの事業、他部局との連携も大切と考える。</p> <p>○協議会と子どもたちの交流を重ねながら、幼・保・小の連携が推進されてきた。平成25年度から教職員の体験研修も計画されており、さらなる充実が期待できる。「15年間の学びの連続性を視野に入れたみすゞ学園」にもつながる取組である。</p>
------	--

番 号	15	主 管 課	学校教育課
事 業 名	外国語指導助手（ALT ^{※1} ）導入事業		
施 策 の 課 題	知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	市内中学校英語授業における教員助手、小学校での外国語活動の補助、地域における国際交流活動への協力を目的とする。具体的には、ALT一人あたり200回程度（1学級あたり週1回程度派遣可能回数）各学校に派遣する。		
予 算 額 (決 算 額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度（当初）
	15,320,000円 (15,077,612円)	15,731,000円 (15,336,463円)	17,672,000円
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>一昨年9月より、民間委託によるALT1名が指導にあっている。（JET^{※2}派遣は2名）</p> <p>中学校では、JET派遣によるALTの利点でもある授業への柔軟な対応力を生かし英語科担当教員の主導のもと、基本的な学習内容から発展的な内容まで学習の充実を図られている。</p> <p>小学校の外国語活動では、コミュニケーション能力の育成、異文化理解等のねらいを達成するため、民間委託ならではの組織として工夫・精選のなされた質の高いプログラム提供がなされている。また独自の研修システムによりALTの指導力向上にも取り組んでいる。児童生徒へのアンケートでは、小学生85%、中学生74%が「ALTとのコミュニケーション活動に、積極的に取り組んでいる」と回答している。</p> <p>授業以外でも教職員や生徒との積極的なコミュニケーション場面を持つようにしており、各校からのあげられた評価も高い。</p> <p>平成24年度 ALT年間派遣回数一人あたり193回</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	JET派遣による5年目のALT2名が平成25年7月末で任期が終わる。新しく派遣されるALT（イギリス、オーストラリア）の研修機会を確保しながら、授業での活用はもとより、地域における国際交流活動など、コミュニティ・スクールとしての在りように寄与できる人材育成を行っていきたい。民間委託については3年の周期で見直しを図ることにしており、今年度中にプロポーザル方式による選定委員会を開催予定である。		

〔事業名〕 外国語指導助手導入事業

外部評価	<p>○高額報酬の外国人ALTには疑問が残るが、今後の取組（コミュニティ・スクールとしての在りように寄与できる人材育成）に期待している。</p> <p>○外国語活動（学習）について、児童・生徒の学習意欲に高まりが見られ、指導助手に対する教職員の評価も高いという状況に、関係者の努力がうかがえる。</p>
------	---

※1 ALT（外国語指導助手）・・・ Assistant Language Teacher の略。市内では、3人のALTが小・中学校を訪問し、外国語の授業にあたっている。

※2 JET・・・財団法人 自治体国際化協会の事業のひとつ、JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）。

番 号	16	主 管 課	学校教育課
事 業 名	研究指定校補助事業		
施 策 の 課 題	知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>各学校からの応募申請に基づき本市教育推進にふさわしい研究に対して、研究指定を行う。</p> <p>コミュニティ・スクール、学力向上、みすゞ教育（心の教育）、特別支援教育を視野に入れた研究課題を設定し、全ての領域において研究及び実践を推進し、その成果を本市小・中学校に広める。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度（当初）
	1,600,000円 (1,450,000円)	1,400,000円 (850,000円)	800,000円
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成24年度：延べ8校を指定</p> <p>(1) コミュニティ・スクール【明倫小】150千円</p> <p>(2) 学力向上【通小、菱海中】200千円</p> <p>(3) みすゞ教育【仙崎小、仙崎中、三隅中】300千円</p> <p>(4) 特別支援教育【仙崎小、油谷小】200千円</p> <p>各ブロック及び指定校において、研究主題を掲げた計画的実践が行われ、各学校の課題に応じた研修について取り組み、学力の向上・定着や特別支援教育の推進につながった。</p> <p>取組についての成果還元方策として、指定校の成果物である研究集録を市内全学校に配付した。指定校によっては、公開研究会を開催し、市内外から多くの参加者に成果を普及する取組がみられた。</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<p>全ての領域において研究が行われた。</p> <p>各学校のニーズと研究領域との整合を図るとともに、児童生徒の現状を見極めながら、その研究課題に即した領域や予算額等を設定していく必要がある。</p>		

〔事業名〕 研究指定校補助事業

外部評価	<p>○指定校の在り方が、ずい分進捗したと評価できる。</p> <p>○課題や領域を設定し、自ら手を挙げたところに研究費を充てる方式が定着し、成果を上げている。市として力を入れたい内容を基本としつつも、幼・保も含めた各ブロック（学園）の特色ある取組も支援できるとよい。</p>
------	--

番 号	17	主 管 課	学校教育課
事 業 名	山口県青少年劇場等開催事業		
施策の課題	規範意識を養い、豊かな心と健やかな体づくり		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<p>児童生徒が芸術・文化に親しみ、楽しむ人になるためには、テレビ等の視聴による間接的な体験だけでなく、子どもの頃から水準の高い優れた文化に直接ふれ、感性を高めていく必要がある。また、優れた芸術に直接接する機会を与えることで、喜びや感動を味わい、豊かな心を育むことにつながり、夢や志を育む感動を体験できる場とするために本事業を開催する。</p> <p>年間4校以上の児童・生徒にこのような機会を与えていく。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	459,000円 (378,000円)	459,000円 (402,000円)	459,000円
評 価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成24年度は合同実施が多く、7校を対象に実施した。児童生徒は、優れた演奏に感動したことを絵画や作文で表現したり、鑑賞から得たものを自分の演技や演奏に生かしたりしている。</p> <p>《公演実施対象校及び参加者数》</p> <ul style="list-style-type: none"> 山口県青少年劇場小公演マリンバ・コンサート (明倫小・三隅中283名 日置小・神田小181名) 山口県交響楽団(油谷小、向津具小、菱海中 125名) <p>《体験した学校の先生方の声》</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが日ごろ聴いているCDやDVD等では得ることができない反応があり、迫力があつた。目を輝かせ、身を乗り出して聴き入っていた。演奏の合間のトークも子どもたちには、とても魅力的であった。 		
課題と今後の取組	<p>限られた予算でより多くの児童生徒が優れた芸術に直接触れる機会を得るため、小中合同や近隣校合同開催を推進していきたい。</p> <p>生で聴くコンサートや演劇をどの子どもも共通に体験できる機会は限られているので、感想を共有したり、よさを他の学校にも広めたり、子どもたちの夢や志につなげる教育活動と連動させながら、内容の充実を図っていきたい。</p>		

〔事業名〕 山口県青少年劇場等開催事業

外部評価	<p>○「本物」に接する機会を大切にしたい。</p> <p>○子どもたちにとって優れた芸術、「本物」に接する機会は貴重である。また、内容によっては幼・保を含めた合同実施も視野に継続できるとよい。さらに、この感動体験を「学習」に生かす工夫がおこなわれていることも評価できる。</p>
------	--

番 号	18	主 管 課	学校教育課
事 業 名	金子みすゞ児童作品コンクール事業		
施 策 の 課 題	規範意識を養い、豊かな心と健やかな体づくり		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	金子みすゞの温かいまなざしと豊かな感性を育む教育の推進に取り組んでいる中で、子どもたちの心を表現する場として、「金子みすゞ児童作品コンクール」を設けている。市内の小学生を対象に、郷土の童謡作家「金子みすゞ」の作品を読み、感想文や感想画及び自由詩として表現された作品を募集し審査会を開催している。全児童数の2割程度の応募作品数を目標とし、優秀な作品については、表彰するとともに、多くの児童が作品にふれられるよう優秀作品集を作成する。		
予 算 額 (決 算 額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	349,000円 (378,000円)	459,000円 (397,774円)	459,000円
評 価 (取 組 状 況) 及 び 成 果 等	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	本市では金子みすゞの温かいまなざしと豊かな感性を大切にされた教育を推進しており、その年にあった詩を6点選んで課題詩として取り組んでいる。各校においては「みすゞ読本」等の活用により、月ごとに詩を朗唱したり、いつでも目に触れるように掲示したりしながら、実態に応じた取組を行っている。また、本コンクールに対する保護者の関心も高く、夏季休業中に制作した優れた作品が多く出品されている。本事業がみすゞ教育推進の一助となっている。 平成24年度作品応募総数 348点 (感想文 58、感想画 72、自由詩 218) ・最優秀賞 11点 ・優秀賞 24点 ・入選 53点 作品集を作成し、子どもたちの温かいまなざしと豊かな感性を形にして残している。		

<p>課題と今後の取組</p>	<p>郷土に根ざした教育の推進に係る事業の一つとして、本コンクールをぜひとも継続・発展させていきたい。みすゞ教育推進の拡充のために、専門家である金子みすゞ記念館学芸員の協力をいただきながら、子どもたちにとって身近で取り組みやすい課題詩を選び、より多くの児童が参加できるようにしていきたい。子どもたちの心がこもった作品をできるだけ多くの方の目に触れるように展示や公開の場を考えていきたい。</p>
-----------------	---

〔事業名〕 金子みすゞ児童作品コンクール事業

<p>外部評価</p>	<p>○マンネリ化を避けながらも、更なる事業の拡充を願う。</p> <p>○選定されたみすゞさんの詩や、それをもとに描いたり綴ったりした子どもの作品がもっと広く市民にアピールできるとよい。課題となった詩の解説も含めて、優秀作品集が広報紙やケーブルテレビに活用できると、関心もさらに高まると期待している。</p> <p>○課題と取組の中に、コンクールを発展させたいとあるように具体的に考えて欲しい。</p>
-------------	--

番 号	19	主 管 課	学校教育課
事 業 名	教育支援センター事業		
施 策 の 課 題	規範意識を養い、豊かな心と健やかな体づくり		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>社会情勢が急激に変化する中で、本市においても、心に悩みを抱えている児童生徒や不登校の児童生徒が増加傾向にある。そこで、教育委員会内に設置された「教育支援センター」で教育相談員等が電話や来所、訪問による相談にできる限り対応するとともに、不登校児童生徒・保護者・教職員への教育支援活動を行う。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	5,568,000円 (5,406,227円)	5,550,099円 (5,423,446円)	5,864,000円
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>「教育支援センター」の相談対応の年間延べ件数は379件(電話対応も含む)で、通室児童生徒の支援や保護者・教職員の相談対応にニーズが増していることがうかがえる。市委嘱のスクールカウンセラーとの連携により、学校への復帰、高校進学ができた生徒の増加等の実績として現れており、センターへの信頼は増している。</p> <p>不登校児童生徒 平成23年度 小学校 1人、中学校 27人 平成24年度 小学校 5人、中学校 25人</p> <p>【通所生徒10名】 通室により学校への登校ができるようになった生徒4名 通室により高校進学に至った生徒2名 ひきこもり状態からの好転が見られた生徒3名</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<p>学校と家庭・関係機関との連携を一層図り、個々のニーズに対応できる支援体制を構築していくことが求められる。具体的には、各校の教員はもとよりスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子ども未来室などとのネットワークの構築を進めていきたい。</p>		

〔事業名〕 教育支援センター事業

外部評価	<p>○本来の教育相談対応と、来所児童生徒への対応をうまく区別し、各々の効率化を図れないものだろうか。</p> <p>○相談件数が年々増加する中、相談内容や通所生徒への親身な対応で着実に成果を上げていることは十分評価できる。人的配置を検討するとともに、スクールカウンセラーや子ども未来室等と連携してアプローチできるとよい。</p> <p>○支援センター事業は、ニーズがあるからとかではなく、大事な事業なので、あらゆるケースに対応が出来る体制を構築していただきたい。</p>
------	--

番 号	20	主 管 課	学校教育課
事 業 名	いじめ問題に係る教育相談事業		
施 策 の 課 題	規範意識を養い、豊かな心と健やかな体づくり		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<p>深刻化しているいじめ問題や不登校問題等の解決に向け、あらゆる諸機関で解決に向けて努力しているが、本市においても、いじめ問題や不登校問題は現存している。そのため、市としてこれを重要課題として位置付け、教育相談員（臨床心理士）1名を配置して、児童生徒や保護者・教職員の相談にあたり、各事例の改善を図る。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度（当初）
	738,000円 (721,780円)	828,901円 (826,229円)	933,000円
評 価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>教育相談員が、子どもの心の問題や親の悩み等の解決にあたり、個々の対応で児童生徒及び保護者の心の安定が図られた事例も多い。特に、発達障害にかかる不登校に関する親の相談等、専門的な知見からの助言は効果的である。</p> <p>以下に示す相談対応件数以外にも電話での相談や問い合わせが多い中、長門市教育支援センターとの連携を図り、的確な助言により、学校の組織的な対応に貢献している。</p> <p>また、肉親の突然の喪失、DVなど緊急を要する事案にも早急な対応ができています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談対応件数 67件（平成23年度 70回） ・学校訪問相談 3回（平成23年度 12回） ・教育支援センター会議 6回（平成23年度 8回） 		
課 題 と 今 後 の 取 組	<p>人間関係づくりに困難さが見られる児童生徒が増え、発達障害に起因する事案や家庭環境により解決に時間を要する事案が増加傾向にある。継続的に個別対応の必要な児童生徒・保護者のニーズは増加傾向にあり、今後も教育相談員（臨床心理士）の配置が是非必要だと考える。学校の組織的な対応を促進していく意味からも、スクールソーシャルワーカーとの連携による支援体制を整えていきたい。</p>		

〔事業名〕 いじめ問題に掛かる教育相談事業

外部評価	<p>○拡充の必要な事業である。物的、人的両面からの拡充が必要である。</p> <p>○子どもの心の問題や環境作りについて、臨床心理士の専門的な知見からの助言や対応は貴重である。学校や保護者とともに問題に向かって歩みを進めるのに大きな力となっている。ぜひ、継続、拡大し子どもの笑顔を取り戻して欲しい。</p> <p>○いじめによる自殺が全国的にも大きな問題となっている今、学校も子どもの変化を見落とさない努力はされていると思う。相談窓口への相談件数が成果ではない。個々の事例に適切な対応を望む。</p>
------	---

番 号	21	主 管 課	学校教育課
事 業 名	キャリア教育推進事業		
施 策 の 課 題	規範意識を養い、豊かな心と健やかな体づくり		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	子どもたちに、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育成することを目的とし、キャリア教育担当者と地域の事業所代表等との「実践協議会」を開催し、地域の教育資源を生かした本市ならではのキャリア教育の充実を図る。		
予 算 額 (決 算 額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	22,120円 (22,120円)	21,000円 (17,400円)	14,000円
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	実践協議会を2回実施した。各実践協議会で、各みすゞ学園ごとに小中連携によるキャリア教育推進の方策を協議した。長門市にあるキャリア教育推進資源の見直しとして「長門商工会青年部」の「ちびなが商店街」の取組紹介、「地域協育ネット」のコーディネーターとしての公民館長の取組紹介などを参考に、各学園の特色を生かした教育活動全体で取り組む実践的なカリキュラムについて協議をすることができたのは有意義であった。 《実践協議会参加者》 ・ 事業所代表者 3名 ・ 「地域協育ネット」代表 1名 ・ 市内小・中学校キャリア教育担当者 19名 《協議内容》 ・ 小中学校のつながりのあるカリキュラム作成演習 ・ 小・中・地域連携によるキャリア教育の推進の具体的方策		
課 題 と 今 後 の 取 組	各みすゞ学園ごとの特色を生かし、キャリア教育の視点から小中連携を推進することが求められる。「1/2 成人式」「立志式」等の取組設定をきっかけとして、具体的なカリキュラム開発を行う予定である。		

〔事業名〕 キャリア教育推進事業

外部評価	<p>○「実践協議会」だけに終わらず、有能な人材を学校に派遣して「キャリア教育」の外部講師として活用することはできないか。</p> <p>○教科を超えたキャリア教育の視点から、小中一貫教育を推進していくことはとても有効であり、教職員の意識もより高まると期待している。1／2成人式や立志式を1つの核ととらえることで、より具体的なカリキュラムが出来ていくであろう。</p>
------	--

番 号	22	主 管 課	学校教育課
事 業 名	特別支援教育の充実事業		
施 策 の 課 題	特別なニーズに対応した教育の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>センター校（萩総合支援学校）やサブセンター校（仙崎小学校）の地域コーディネーターが幼稚園・保育園や小・中学校を巡回訪問したり、発達検査や教育相談を実施したりするとともに、教職員を対象とした発達検査研修会や校内コーディネーター・特別支援補助教員を対象とした研修会を実施するなど、研修の充実を図る。また、市内年中児を対象として年2回長門市独自の「5歳児すこやか相談会^{※1}」を実施し、県内トップクラスのきめ細かな体制を構築し、早期支援につなげていく。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	262,000円 (239,870円)	239,000円 (257,830円)	413,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>特別な支援を要する園児児童生徒が増加する中、地域コーディネーター^{※2}による訪問による支援は各園・各校にとって必要不可欠である。</p> <p>《長門市幼保特別支援教育研修会》 ・参加者数 20名（幼保教員 15名 関係機関 5名）</p> <p>《長門市特別支援教育補助教員研修会》 平成24年8月3日 ・参加者数 32人（小学校22名 中学校10名） ・内 容 情報交換、講話（地域コーディネーター）</p> <p>《地域コーディネーターの活用》 ○サブセンター校（仙崎小学校）のコーディネーターの現況 ・訪問による相談件数（本人・保護者・教員） 68件 ・研修会講師（市教委主催研修会及び校内研修会） 20件</p> <p>○センター校（萩総合支援学校）のコーディネーターの現況 ・発達検査及び相談（幼稚園・保育園・小学校・中学校）95件</p> <p>5歳児すこやか相談会では、多くの相談希望があり、そのニーズに応じて助言や対応を行うことができた。</p> <p>《第1回5歳児すこやか相談会》8/23 5名 8/30 4名 9/20 2名 《第2回5歳児すこやか相談会》2/7 1名 2/14 3名</p> <p>※ 昨年度も希望者が多かったため第1回目は3回、2回目は2回に分けて実施している。丁寧な対応と保護者の方の要望に応じていくために、1日に相談できる人数を調整して対応している。</p> <p>《保護者の声》 ・就学に関して少し不安であったが、早期に専門の先生方に相談することができ安心することができた。このつながりを大切にしたい。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>5歳児すこやか相談会は、5年目を迎え定着してきている。これまでの取組をもとに保護者が気軽に相談できるように案内回数や園からの声かけを増やし必要に応じた適切な支援につながるようにしていきたい。</p> <p>また、地域コーディネーターを中心に個別の教育支援計画の作成を通して、相談支援の充実と相談後のフォローアップに一層努め、各小・中学校における校内コーディネーターを中心とした支援体制を強化するとともに、気軽に専門家と相談できるような仕組みづくりを充実させていきたい。また、地域コーディネーターの育成をめざして、校内コーディネーターの研修も充実させていきたい。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 特別支援教育充実事業

<p>外 部 評 価</p>	<p>○継続・拡充すべき事業の一つである。</p> <p>○現場で実際に児童生徒に対応する補助教員の意識と資質の向上を図るためにも、研修会は是非続けて欲しい。</p> <p>○特別支援教育の充実に向けて、きめ細かな対応が行われている。早期発見・早期支援に資する5才児すこやか相談会や幼保巡回訪問、さらに幼保教職員研修等は県内でも先進的な取組みであり、「なめらかな接続」に寄与するところも大きい。</p>
----------------	---

※1 5歳児すこやか相談会 …… 5歳児をお持ちの保護者に対して、子どもの発達等の相談を行う会。

※2 地域コーディネーター …… 特別支援教育において、地区内（市内）の学校を支援する教員。

番 号	23	主 管 課	学校教育課
事 業 名	就学指導委員会事業		
施 策 の 課 題	特別なニーズに対応した教育の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>学校教育法施行令第18条の2（保護者等の意見聴取）に基づき、長門市就学指導委員会を設置している。教育学、医学、心理学、その他の就学に関する専門的知識を有する者等、教育委員会が委嘱した15人以内の委員をもって組織し、過半数以上の出席で年に5月、11月、1月の3回実施する。専門家の意見をもとに、児童・生徒のよりよい就学につなげていく。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度（当初）
	200,000円 (131,220円)	200,000円 (119,540円)	199,000円
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>本年度は、就学指導委員会を3回の予定だったが4回開催している。配慮を要する児童生徒数が増加しているが、適正な就学に資するため専門的な立場から検討に時間をかけて慎重な審議をさせていただいている。</p> <p>《要検討児童生徒数》</p> <p>平成23年度 46人 平成24年度 49人</p> <p>(第1回 5/27 0名) (第2回 11/15 29名) (第3回 1/17 29名) (第4回 3/22 1名)</p> <p>学校や保護者の急な要望にも対応することで、児童・生徒にとって適正な就学につながっている。</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<p>今後も、一人ひとりの障害の種類や程度等に適した教育の場について慎重に審議するためには、教育学、医学、心理学等に関して学識経験を有する者で委員会を組織し、現在の委員数15人は必要である。要検討児童生徒数の増加及びきめ細かな就学指導をするためにも、今後も委員会の開催は年3回以上必要であり、継続して取り組んでいきたい。</p> <p>また、保護者の理解を得るためにも、専門家の見識を参考にしながら、丁寧に対応していきたい。</p>		

〔事業名〕 就学指導委員会事業

外部評価	<p>○継続必要な事業である。</p> <p>○定期の委員会は、現状時期が最適か検討してみることも大切。</p> <p>○件数が増加する中、回数を増やすなどのきめ細かな対応が行われている。個々の子どもの成長にとってよりよい環境をめざし、委員の意見をもとに保護者と共に考える姿勢をこれからも大切にしてほしい。</p>
------	---

番 号	24	主 管 課	学校教育課
事 業 名	夏季教育研修講座事業		
施 策 の 課 題	特別なニーズに対応した教育の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>「生きる力」「心の教育」「特色ある学校づくり」など、教育の質的転換が求められている今日、各界で活躍されている先達の生き方や考え方、実践などに直接ふれる機会をもつことができるようにする。夏季休業中に、講師を招聘して4つないし5つの研修講座を設け、教職員の研修の場とする。その年の本市の「教育的な課題」について示唆していただける講座にすることにより、早期の課題解決に向けての取組になっている。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度 (当初)
	87,000 円 (39,677 円)	150,000 円 (56,644 円)	142,000 円
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>2日間の講座選択という日程で設定した。教職員のアンケート結果では、タイムリーな内容であり、実践に役立ち、充実した講座であったと全体評価も高かった。また、昨年度は、2つの講座において、一般の方や保護者も参加できるようにし、教養を広めることができる講座とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自他のよさを大切にする子どもを育てる道徳の授業づくり」 講師 坂本 哲彦 山口市立德佐小学校教頭 76名参加 ・「夢見る防災教育」 講師 諏訪 清二 兵庫県舞子高等学校 環境防災科長 92名参加 ・「通常学級における発達障害をかかえる子どもへのかかわり」 講師 須藤 邦彦 山口大学教育学部講師 92名参加 ・「一人ひとりの存在を認め合い、互いの人権を尊重する人権教育」 講師 田中 康夫 山口県教育庁人権教育課指導主事 62名参加 <p>《参加者の声》防災など、今年度のニーズに応じた内容で充実している。</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<p>本市学校教育の目指す姿や、教育の今日的課題、ニーズに関連した講座内容にしていきたい。長門市教育委員会が重点的に取り組んでいるコミュニティ・スクールや特別支援教育に関する内容を重視し、教職員が興味をもって参加できる講座の内容とする。また、教職員の要望により講座を設定することができるようにアンケート等も活用していきたい。</p>		

〔事業名〕 夏季教育研修講座事業

外部評価	<p>○講座内容は引き続き、教職員のニーズにも配慮し、今日的課題に合った内容になるとよい。</p> <p>○教育の今日的課題や本市の重点課題に係る講座、また教職員の抱えている課題などをうまく取り入れた充実した講座内容である。長門市が継続して取り組んでいる事業であり、教職員の資質向上と協働意識の醸成に大きく寄与していると感じる。</p>
------	--

番 号	25	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	成人式開催事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	市として新成人のお祝いをする。 【期日】平成25年1月3日（木） 【会 場】ルネッサながと 【対象者】362人（H4.4.2～H5.4.1）・出席者291人 【内 容】式典、アトラクション、記念撮影、企業PRブース、メッセージボード 【目 標】社会人としての自覚を促すとともに長門市に愛着を持ってもらう。		
予 算 額 （決算額）	平成23年度	平成24年度	平成25年度（当初）
	1,133,000円 (955,952円)	1,191,000円 (951,769円)	1,099,000円
評 価 （取組状況及び成果等）	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	実施後のアンケートは次のとおり（各項目を点数により評価、満点2970点） 式典について2097点 新成人から見た長門の姿について2067点 クイズについて1950点 ミニライブについて2297点 ロビーでの催し2048点 新成人の新宅由貴子さんのミニライブの実施、ロビーで企業PRブースやメッセージボードを設置、記念品にふるさとテキストを採用するなどしてみたところ、7割近い評価を得た。		
課 題 と 今後の取組	アトラクションに新成人の新宅由貴子さんのミニライブを行うことで一体感のあるイベントにはなったが、クイズの進行方法及び賞品の面で評価が低かったので、検討していきたい。 また、同時に行った成人式の開催日時及び午後開催についてのアンケートについては、意見をいただいた方の半数以上が、現状でよいとの意見であったので、現状での開催としたい。 アンケート結果 （1月3日開催について、「よい」173 「遅い」2 「早い」32 午後開催について、「良いと思う」71 「遅い」121 「早い」4）		

〔事業名〕 成人式開催事業

外部評価	<p>○新成人の出席率もよく、評価できる。</p> <p>○毎年内容に工夫が見られ、新成人にとって評価の高い成人式となっている。 各自が自分の描く長門市像を綴り、発表する企画も、社会人の一員として自分に何が出来るのか考えるきっかけとなる。有意義な取組みとして、これからも大事にして欲しい。</p>
------	--

番 号	26	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	公民館指定管理事業		
施 策 の 課 題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>地域住民に公民館の管理・運営を委託する。</p> <p>【管理団体】俵山地区発展促進協議会</p> <p>【委託期間】H24.4.1～H27.3.31</p> <p>【目 的】地域住民による公民館を中心とした社会教育の充実と地域の活性化</p>		
予 算 額 (決算額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	11,688,000円 (11,511,229円)	10,438,000円 (10,438,000円)	10,501,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>俵山公民館における利用者数は、平成24年度も5千人台をキープし、学習拠点としての役割やNPO法人ゆうゆうグリーンと連携した地域づくり事業により、地域の拠点として重要な役割を担っている。</p> <p>平成24年度より放課後子ども教室事業を委託事業とし、指定管理の契約内容から切り離すことで、お互いの事業費が確立された。</p> <p>また、俵山以外の2地区の公民館関係者(職員・公民館企画運営委員等)による合同視察等を実施し、地域づくり活動を展開していく中での公民館のあり方、関わり方についての研修を行うことができた。</p>		
課 題 と 今後の取組	<p>公民館が地域づくりに果たす役割が大きく求められている中、地域課題の解決に繋がる公民館活動を展開する上で、地域に埋もれている人材の発掘や、リーダー・コーディネーターとなる人材の育成が望まれる。</p>		

〔事業名〕 公民館指定管理事業

外部評価	<p>○各公民館の立地する地域性や人材、価値感等が異なり評価が難しい。</p> <p>○リーダー、コーディネーターの育成が課題である。現在、住民と行政が一体となって地域づくりを考える場として機能しており、今の形での充実を図ることも大事だと考える。</p>
------	---

番 号	27	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	図書館の充実事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書等資料の充実 ・ 子どもの読書活動推進 ・ 音楽、映画、講演会等の各種事業の実施 <p>【目 標】 図書館の利用促進と図書館機能の向上</p>		
予 算 額 (決算額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	8,426,000円 (8,410,301円)	8,293,000円 (8,246,834円)	8,290,000円
評 価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>○図書等資料の収集は、司書の選書、利用者からのリクエストに応じた資料の収集および他館からの借受けなどを迅速かつ的確に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貸出数 211,848点(全館計) <p>○ボランティアによる読み聞かせ出前サービスは、回数、派遣人員、参加者数ともに前年度実績を上回っている。出向くことによる図書館利用の促進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣先 19(19)カ所、出前回数 246(223)回、派遣人員 288(267)人 参加者数 4,179(3,930)人 ※()内は前年度数値 <p>○従来の図書館運営に固執せず、前年度に引き続き映画や音楽会などを開催し、利用の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館コンサート2回 ・ 映画上映 20作品 ・ 音楽鑑賞会3回 ・ 講演会2回 ・ 図書館まつり1回 <p>以上の取り組みにより、図書館の古い体質改善のための、図書館利用者および図書館職員の意識改革には効果があったと思われる。</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<p>人口減少による利用者数漸減から回避は困難としても、これまで図書館を利用していない人たちのニーズを掴むことで、若干の歯止めは期待できる。そのためには何が求められているのかを研究する必要があるが、事業の継続または見直しなどを検討しながら、従来以上の図書等資料やレファレンスサービスの充実とともに、居心地のいい図書館となるよう空間整備を図りたい。</p> <p>また、新聞・ラジオ・CATV等での告知や広報に、これまで以上に積極的に取り組み、図書館への関心度を高める。</p>		

〔事業名〕 図書館の充実事業

外部評価	<p>○図書館利用者数だけで評価することなく、市民のニーズを把握し、図書館のよさを発信することで、利用者層の拡大や新規利用者の増加につながるとよい。</p> <p>○利用促進に向けて鑑賞会、講演会の実施等様々な工夫が行われている。「親子読書のススメ」「ブックスタート」の支援など、本を介在して親子のかかわりを深める取組み（出前講座）等にも期待している。</p>
------	--

番 号	28	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	婦人団体活動支援事業		
施 策 の 課 題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>長門市連合婦人会の活動を財政的及び事務的に補助・支援する。女性の立場からの様々な行政課題の解決に向けた活動を側面から支援する。</p> <p>【目 標】地域婦人会の連絡提携と女性の教養・文化・体育の向上</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	716,000円 (716,000円)	716,000円 (716,000円)	716,000円
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>婦人会は、多くの任意団体にもその構成員として求められるほど、市の主要団体として位置づけられており、市の社会教育関係団体の顔として、生涯学習の推進に大きな貢献を果たされている。</p> <p>長門市連合婦人会補助金 716,000円 平成24年度会員数 608人(油谷348人、仙崎240人、俵山20人) 会員ひとりの年会費 油谷400円、仙崎500円、俵山500円</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<p>婦人会組織が全地区にないこと、会員の高齢化が進んでいることは大きな課題であるが、地域に根ざした婦人ボランティア活動をこれからも支援していきたい。</p>		

〔事業名〕 婦人団体活動支援事業

外部評価	<p>○これまでの評価と課題に対応しているとは言い難い。継続するからには、将来を見通した組織づくりに力をいれることが喫緊の課題である。</p> <p>○地域に貢献している婦人の団体はたくさんある。補助金か助成金か検討する中で、大きい組織を持つ連合婦人会の存在意義についてもう一度考えてみたい。</p> <p>○長門市連合婦人会とはいえ一部地区でのみ構成され、全市的な活動ではない。各地区での活動はあろうが、連合婦人会としての活動はあるのか。多額の補助金に疑問を感じる。</p>
------	--

番 号	29	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	青少年健全育成団体支援事業		
施 策 の 課 題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>青少年健全育成団体への活動費及び活動の補助・支援や事務業務の支援を行う。各団体の運営については各団体が自主性を持って行なわれているが、専門的な問題や行政課題に関する問題については側面から支援する。</p> <p>【目 標】青少年健全育成の推進</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	681,000円 (681,000円)	638,000円 (638,000円)	638,000円
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>子ども会育成連絡協議会、青少年育成市民会議の事務については社会教育指導員を配置し、支援していることで、団体の健全な運営が確保できている。</p> <p>子ども会育成連絡協議会補助金 176,000円 青少年育成市民会議補助金 261,000円 長門市PTA連合会補助金 151,000円 ガールスカウト活動費補助金 50,000円</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<p>平成24年度から小学校PTA連合会と中学校PTA連合会が統合されたため、小学校PTA連合会への助成は、「長門市PTA連合会」に移行した。</p> <p>今後も、側面的な支援をすることで、青少年育成団体の活動が円滑に実施されるよう取り組む。</p>		

〔事業名〕 青少年健全育成団体支援事業

外部評価	<p>○行政の側面的な支援は引き続き必要であろうが、各組織の自立への努力も必要である。</p> <p>○補助金や人的な支援を受けてそれぞれの団体が青少年の健全育成に向けて活動できている。引き続き指導性を発揮して活性化できるとよい。</p> <p>○長門市PTA連合会に事務局支援を願う。</p>
------	---

番 号	30	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	人権教育講座開設事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>市民を対象に人権教育を推進するための講座を開設する。</p> <p>H24. 7 第1回人権教育セミナー 参加者 約150人</p> <p>H24. 8 第2回人権教育セミナー 参加者 約40人</p> <p>H24.12 第3回人権教育セミナー 参加者 約150人</p> <p>【目 標】人権意識の向上や人権についての啓発・啓蒙</p>		
予 算 額 (決算額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	391,000円 (381,650円)	348,000円 (268,410円)	353,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>各講座とも実施後のアンケートによると「とてもよい」「よい」が90%を超えており(第1回98% 第2回100% 第3回94%)、人権教育推進委員会主導の充実した取り組みとなった。</p>		
課 題 と 今後の取組	<p>各講座とも充実した内容であったが、より多くの方に参加していただけるよう、ほっちゃテレビ等利用し啓発したい。</p> <p>また、講座の内容によっては対象者をしぼるなど、実施方法も検討していきたい。</p>		

〔事業名〕 人権教育講座開設事業

外部評価	<p>○推進困難な事業の一つであるが、引き続き工夫と努力を重ねていただきたい。</p> <p>○人権教育推進委員主導で講座が開かれているところがよい。内容によっては、小中学校の人権教育部会、PTA、家庭教育学級、民生委員会、社会福祉協議会の研修ともタイアップできると考える。</p>
------	---

番 号	31	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	人権教育啓発推進事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<p>人権問題についての認識を深めるため、市民を対象に講演会を開催する。</p> <p>【期 日】平成24年11月3日（祝・土）</p> <p>【会 場】ルネッサながと</p> <p>【対象者】一般市民 約800人</p> <p>【内 容】大切に慈しんで「ひとつの命」 ～児童虐待の事件から子どもの人権を考える～ 講師 住田裕子（弁護士）</p> <p>【目 標】人権意識の向上や人権についての啓発・啓蒙</p>		
予 算 額 (決算額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度（当初）
	380,000円 (342,136円)	194,000円 (191,411円)	413,000円
評 価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
（取組状況及び成果等）	<p>実施後のアンケート（回収率53.3%）によると、「とても満足」47.9%、「満足」43.2%と高い評価をいただいた。</p> <p>「子どもの人権」をテーマに、福祉課と連携し、大規模なイベントが実施できた。</p>		
課 題 と 今後の取組	<p>人権のテーマ次第では、教育委員会以外の関係部署との連携も可能で、大規模なイベントの中でフェスティバルを行うことができる。このような可能性も視野に入れながら、今後も、わかりやすい問題提起により、人権教育に取り組んでいく。</p> <p>また、人権週間に合わせた12月開催を検討したい。</p>		

〔事業名〕 人権教育啓発推進事業

外部評価	<p>○参加対象者を広く一般市民にし、他部局と連携して実施できたことは評価できる。</p> <p>○毎年充実した内容で、成果を上げている。内容によっては他課との連携も考えられる。今日的課題を取り上げるとともに、諸団体を通して広くPRすることで参加者が増えていくと思う。</p>
------	--

番 号	32	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課		
事 業 名	我がまちスポーツ推進事業				
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実				
区 分	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了				
事業の概要及び目標	山口国体の開催競技を「我がまちスポーツ」として地域に根付かせ、推進を図るため、スポーツ関係団体等と連携しながら、「我がまちスポーツ」の定着・育成に向けた取り組みを行う。(平成24年度新規事業) 【目標】 スポーツの推進と地域づくりや地域の活性化に繋げる				
予 算 額 (決算額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)		
	—	11,050,000円 (10,432,020円)	11,050,000円		
評 価 (取組状況及び成果等)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る				
	国体で培われた人脈等を活用し、トップアスリートを招聘した各種イベントの実施等、当初計画より充実した内容で事業を実施することができ、多くの参加者が集い競技の普及に一定の成果があった。 また、事業実施にあたっては、他のイベントをタイアップさせるなどして、宿泊者数を確保し、地域経済の活性化にも繋げることが出来た。				
		補助団体名等	事業内容	参加者数	決算額
		長門市ラグビー協会	タグラグビー祭	(人)	(円)
			元日本代表ラグビー教室		
			トップリーグラグビー教室		
			トップキュウシュウリーグ戦		
			タグラグビー教室		
		審判員等養成研修会			
		山口県ラグビー協会	全国大会県予選運営費補助	1,500	1,050,000
		長門市空手道連盟	西日本空手道親睦大会	870	300,000
		シーカヤック実行委	シーカヤック教室	195	400,000
			シーカヤックフェスティバル		
		コンベンション協会	スポーツ合宿奨励金	2,100	3,700,000
		RWC招致活動(企画)	日本協会訪問旅費	5	344,420
		タグ用具購入(学スポ)	小・中学校タグラグビー用具整備	2,500	847,600
			合 計	10,190	10,432,020

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>ラグビーについては、イベント等の参加者は多くあるものの、競技人口の底辺（小・中学生）拡大には至っていないため、小・中学生が参加しやすい教室やイベントの実施を企画していく。</p> <p>また、「我がまちスポーツ」を通じて、市外からより多くの方を市内へ呼び込み、毎年合宿等を継続させていくために、合宿地としての長門市をPRしていく。</p>
----------------------------	--

〔 事 業 名 〕 我がまちスポーツ推進事業

<p>外 部 評 価</p>	<p>○本事業（多額の補助金）により、宿泊者数の増加をみても、地域の活性化につながったとは言い難い。（「一定の成果」が妥当）大切なことは、市民の意識の向上と競技人口の（底辺）の拡充ではないか。</p> <p>○平成24年度からの新規事業であり、根付かせていくには、予算も時間も関係者の熱い思いも重要であろう。大きな大会が開かれ、子どもたちの夢が広がるとよい。</p> <p>○ラグビーを我がまちスポーツにするには、競技人口が少なすぎる。合宿地誘致のための事業なら、教育委員会が力を入れる事業なのか。</p> <p>○活動内容が分かりにくい。</p>
----------------	--

番 号	33	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	学校体育施設開放事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<p>地域住民のスポーツ活動の場として学校体育施設を開放し利用してもらうため、施設の改修や競技用具を整備する。</p> <p>【目 標】生涯スポーツの振興を図る。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	317,000円 (112,234円)	317,000円 (267,741円)	406,000円
評 価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>地域住民が気軽にスポーツに親しむため、市内の全小・中学校体育施設を開放しており、事業としての必要性は高い。</p> <p>利用団体受付窓口や学校、利用団体等と協議し、利用者が必要とする施設の改修や競技用具の整備に努めた。</p> <p><決算内訳> 鍵管理謝金(向陽)年24,000円 消耗品(競技消耗品・水銀灯・ワックス・モップ等)243,741円</p>		
課題と今後の取組	<p>今後も、地域住民が気軽にスポーツに親しめる場として、学校体育施設開放事業を継続していく。</p> <p>また、地域住民が利用しやすいよう、利用団体のニーズを調査するとともに、利用方法や利用時間等、学校体育施設の利用に関する情報を積極的に提供していく。</p>		

〔事業名〕 学校体育施設開放事業

外部評価	<p>○市民のニーズに合った開放事業となるよう、引き続き努力と工夫を重ねて欲しい。</p> <p>○施設開放は継続して推進したい。管理面については、担当部署として指導性を発揮するとともに、学校と十分に協議し、連絡が取れる体制を大事にしてほしい。</p> <p>○受付窓口を明確に。(公民館 or 各学校) (チラシ etc)</p>
------	--

番 号	34	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	スポーツ教室・健康医学講習会開催事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	各種スポーツ教室の開催 【目標】市民が健康で豊かな生活を送るための機会を提供する。		
予 算 額 (決算額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	598,000円 (336,000円)	581,000円 (388,800円)	468,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	市民が各種スポーツの基本を学びスポーツに親しむ機会が増すことにより、健康の維持増進を図っている。 平成23年度から取り組んでいるチャレンジ・ザ・ゲームの普及・啓発を図るため、スポーツ推進委員会を中心に子ども会やPTAの集会など、各種イベントへ出向き、競技の講習や記録会を行なった。 また、スポーツ推進委員の研修会では、講師を招き、救急法の講習やスポーツ障害等に関する講話を聴き、スポーツ指導者としての資質向上の取り組みも行った。 平成24年度 チャレンジ・ザ・ゲーム 12回		
課題と 今後の取組	今後も、市民がスポーツに親しむ機会を増やすため、チャレンジ・ザ・ゲームの教室を開催していく。 また、平成25年度からのチャレンジ・ザ・ゲームには、新たな種目が取り入れられており、新たに普及審判員の資格も必要となるため、長門市で独自に講習会を開催し、指導者の確保に努めるとともに、引き続きイベントへ出向いて競技の普及を図っていく。		

〔事業名〕 スポーツ教室・健康医学講習会開催事業

外部評価	<p>○他部局との連携共催も検討する必要はないだろうか。</p> <p>○今後の高齢化社会に対応した内容も研究していただきたい。</p> <p>○チャレンジ・ザ[®]・ゲームの普及に特に力をいれ、指導要請が増えてきていることは評価できる。いつでもどこでもできる内容を取り入れながら、楽しく運動できる機会が増えていくとよい。</p>
------	--

番 号	35	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課																	
事 業 名	長門市体育協会補助金事業																			
施 策 の 課 題	いつでも、どこでも学べる機会の充実																			
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了																			
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>長門市体育協会の運営に対して財政的に補助する。</p> <p>【目 標】加盟団体の育成強化と市民の生涯スポーツ活動の推進。</p>																			
予 算 額 (決 算 額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)																	
	12,524,000円 (12,253,911円)	12,524,000円 (11,347,945円)	12,524,000円																	
評 価 (取 組 状 況) 及 び 成 果 等	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る																			
	<p>長門市体育協会は市民ハイキング、グラウンドゴルフ大会、市民スポーツフェスティバル、市民駅伝大会等の各種大会を開催し、市民のスポーツ振興、体力・競技力の向上を図っている。</p> <p><決算内訳></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">支 出</td> <td>事務局人件費</td> <td style="text-align: right;">7,130,739円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務費</td> <td style="text-align: right;">1,567,992円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費</td> <td style="text-align: right;">3,566,814円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td style="text-align: right;">12,265,545円－①</td> </tr> <tr> <td>収 入</td> <td>大会参加負担金等</td> <td style="text-align: right;">917,600円－②</td> </tr> <tr> <td>差 引 (①－②)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">11,347,945円 を補助</td> </tr> </table>			支 出	事務局人件費	7,130,739円		事務費	1,567,992円		事業費	3,566,814円		計	12,265,545円－①	収 入	大会参加負担金等	917,600円－②	差 引 (①－②)	
支 出	事務局人件費	7,130,739円																		
	事務費	1,567,992円																		
	事業費	3,566,814円																		
	計	12,265,545円－①																		
収 入	大会参加負担金等	917,600円－②																		
差 引 (①－②)		11,347,945円 を補助																		
課 題 と 今 後 の 取 組	<p>今後も、市民が多く参加できるスポーツ大会等を開催するとともに、加盟競技団体の育成・指導を行い、競技スポーツの強化を図るため、事業を継続していく。</p>																			

〔事業名〕 長門市体育協会補助金事業

外部評価	<p>○いつまでも行政への「おんぶに抱っこ」ではなく、受益者負担について啓発すべきである。</p> <p>○生涯スポーツ活動の推進は大切であるが、個々の事業については常に点検・見直しをしながら進めていくことが大切だと思う。</p> <p>○各事業の参加者が年々減っていると聞く。予算の検討も必要かと思う。</p>
------	--

番 号	36	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	総合型地域スポーツクラブ育成事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	総合型地域スポーツクラブを育成するため、運営のアドバイスや人材の育成、設立の支援を行なう。(自主運営の環境整備支援) 【目 標】 地域住民が身近で気軽にスポーツを楽しめる環境の整備		
予 算 額 (決算額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	3,240,000円	4,027,000円	3,494,000円
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">スポーツ振興くじの助成による</div>		
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	総合型地域スポーツクラブとしてスポーツ振興くじの助成事業を活用し、地域で自主運営による活動を展開している。スポーツ推進委員等と共に地域の取組みを支援し、平成24年度には新たなスポーツクラブの創設を目指す長門スポーツクラブ準備委員会も発足した。		
課 題 と 今後の取組	引き続きクラブマネジャーの養成等を行い、地域総合型スポーツクラブ設立へ向けた地域の活動等を側面的に支援していく。		

〔事業名〕 総合型地域スポーツクラブ育成事業

外部評価	○地域の主体的なスポーツ活動を通して交流が広がり、協働の地域づくりができていくとよい。
------	---

番 号	37	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	ニュースポーツ等指導者研修事業		
施 策 の 課 題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>誰でも気軽に親しめ、楽しめるニュースポーツ等の振興を図るため、研修会等に参加し、指導者を育成する。</p> <p>【目 標】市民が気軽にスポーツ等に取り組める環境の整備・充実</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	52,000円 (26,000円)	52,000円 (10,400円)	52,000円
評 価 (取 組 状 況) (及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>クラブマネジャーは、新規スポーツクラブで、クラブの企画・運営に従事し、積極的に地域スポーツの振興に貢献した。</p> <p>また、チャレンジ・ザ・ゲームでは、市内で記録会を開催し、市内のチームが2012年度全国上位ランキングに入賞することができた。</p> <p>平成24年度研修会等</p> <p>クラブマネジャー養成講習会 1人</p> <p>チャレンジ・ザ・ゲーム講習会 3人</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<p>今後も、研修会等への参加者の確保に努め、指導者を育成することで市民へのスポーツ振興を図っていく。</p>		

〔事業名〕 ニュースポーツ等指導者研修事業

外部評価	<p>○これからの地域づくりを考えた時、いろいろな分野でのリーダーの養成は重要で、地域スポーツ振興のリーダーとしての活躍に期待している。</p> <p>○「研修会への参加」と「環境の整備・充実」との関係がはっきりしない。</p>
------	--

番 号	38	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	放課後子ども教室推進事業		
施 策 の 課 題	学校・家庭・地域の連携を強化し、学習成果を生かす協働の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	放課後の子どもの見守り、健全育成。 【対 象】 小学1年生～6年生 【実施校】 俵山小学校・神田小学校・向陽小学校・向津具小学校 【目 標】 各放課後子ども教室の支援、今年度新設の向津具小放課後 子ども教室の運営協力及び支援		
予 算 額 (決算額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	3,491,000円 (3,124,391円) ※神田・向陽	7,101,000円 (6,900,398円) ※俵山・神田・向陽・向津具	5,737,000円 ※俵山・神田・向陽・向津具
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	市内の小規模校を対象とした「放課後の子どもの居場所づくり」として進 めている。 登録率は、俵山71.4%(25/35)、神田小64.0%(16/25)、向陽小69.2%(45/65)、 向津具40.0%(14/35)となっており、多くの児童が放課後の居場所として子ど も教室を活用している。		
課 題 と 今後の取組	平成24年4月に開設した向津具小放課後子ども教室の登録率は、40.0%で あったが、平成25年度は登録者数が増加する見込みである。 また、未実施校は通小1校となったが、通地区内では、以前から地域の人 たちによる独自の見守り体制がとられているところであるが、今後放課後子 ども教室の開設も視野に入れ働きかけを行っていきたい。 また、登録者・参加者が増加していく中で、学習アドバイザーや安全管理 員の確保について支援していく。		

〔事業名〕 放課後子ども教室推進事業

外部評価	<p>○継続必要な事業であるが、目的を明確にし、単なる「子どものお守り」「学校の延長」とならないように願う。</p> <p>○地域のいろいろな人がかかわる「教室」になってきている。学習アドバイザーや安全管理員の努力によるところが大きいと思うが、持続するための工夫や支援について十分協議しながら推進してほしい。</p>
------	--

番 号	39	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	文化財の保護・活用事業		
施策の課題	次世代への地域文化の継承		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>ながと歴史民俗資料室及び日置歴史民俗資料館において、本市の埋蔵文化財や民俗資料、歴史資料等を常設展示している。</p> <p>また、ながと歴史民俗資料室においては、企画展を年2回、山口県埋蔵文化財センターの巡回展を毎年1回実施し、あわせて長門市文化財保護協力員の研修会を開催している。</p> <p>【目標】地域文化財の保存・管理と地域文化の伝承。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	1,722,000円 (1,710,139円)	1,724,000円 (1,334,746円)	1,420,000円
評 価 (取組状況 及び成果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>ながと歴史民俗資料室は、年間約500名の入館者があり、昔の農具等を常設展示している。向陽小、深川小3年生が授業の中で訪問し、昔の農業について展示品に触れながら学習している。また、収集している民俗資料を深川小学校に貸出し授業で活用されたり、文化財保護指導員が指定文化財を持参して出前授業を行なった。</p> <p>企画展では、萩焼展を8・9月、12・1月の2回実施し、合わせて500人以上の来館者があった。(会期中土日開館)</p> <p>また、日置歴史民俗資料館は、日頃改善センター職員により見学者への対応を行っており、日置ふるさとまつり開催時には、約300名の入館者がある。展示については、旧日置町時代の民俗資料や歴史資料が常設展示しており、ここでも主要な入館者は日置小学校児童である。(両施設の休館日は、土・日・祝日・年末年始)</p>		
課 題 と 今後の取組	<p>歴史民俗資料の展示のために、現在旧1市3町で保存収集している資料を専門的に整理・分類・展示する体制(学芸員等の専門職員の配置を含む)が必要である。</p> <p>また、展示場所についても日置歴史民俗資料館、ながと歴史民俗資料室があるが、より市民に身近な展示ができるよう公民館等も含め施設間の連携等に取り組む必要がある。</p>		

〔事業名〕 文化財の保護・活用事業

外部評価	<p>○貴重な文化財の保護・活用のためには専門職員等の人材の拡充が必要である。</p> <p>○指導員が出前授業をするなど新しい取組みが行われている。子どもたちの学習材として活用できるものもたくさんあり、教職員へのPRも必要である。また、資料館を会場にする展示会や各種イベントでのスタンプラリーのポイントにしてもらうなど、触れる機会を増やしていきたい。</p>
------	--

番 号	40	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	地域文化の継承事業		
施 策 の 課 題	次世代への地域文化の継承		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>鯨及び漁村文化に係る民俗資料の保存及び展示を行うくじら資料館の運営、維持管理を行う。(くじら資料館維持管理費)</p> <p>郷土の先賢である村田清風及び周布政之助の遺品と資料や、歴史民俗資料を展示する村田清風記念館の運営、維持管理を行う。(村田清風記念館維持管理費)</p> <p>【目標】くじら文化や村田清風の業績に対する理解を広げていくこと、地域文化財の保存・管理と地域文化の伝承。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成23年度	平成24年度	平成25年度(当初)
	13,202,460円 (12,822,461円)	13,605,000円 (10,068,942円)	13,788,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>くじら資料館については、国指定文化財である「長門の捕鯨用具」を保存・展示しており、要望があれば来館者に対する説明も行っている。</p> <p>平成23年度入館者数：12,178人 平成24年度入館者数：11,923人</p> <p>村田清風記念館については、村田清風及び周布政之助に関する遺品や資料等を保存・展示しており、要望があれば来館者に対する説明も行っている。</p> <p>また、村田清風競書大会や古文書講座を開催し村田清風の偉業を周知・啓蒙する事業も実施している。</p> <p>平成23年度入館者数：3,172人 平成24年度入館者数：3,697人</p>		
課題と 今後の取組	<p>展示や来館者に対する説明等については問題はないが、企画展の実施や展示物の調査研究など学芸員等の専門的な関わりが必要と感じている。それにより来館者増も図れるのではないかと考える。</p> <p>また、くじら資料館は通地区の観光の拠点という側面もあることから、観光ボランティアとの連携などの検討も必要である。</p>		

〔事業名〕 地域文化の継承事業

外部評価	<p>○予算を効率的に活用し、「くじら」と「清風」だけでなく、より広く地域文化の保存や継承につながるとよい。</p> <p>○地元にいる者が案外知らないことが多い。「ふるさと再発見」「ふるさと散歩」「歴史探訪ドライブマップ」などを提案・PRしていくことで、さらに地域の歴史への関心も高まるのではないか。</p>
------	---